
全町会・自治会実態調査 報告書

平成30年12月

墨田区

地域力支援部 地域活動推進課

目次

	ページ
実施概要	・・・ 1
集計結果（町会・自治会分）	・・・ 2
貴町会・自治会の「概要」について	・・・ 2
貴町会・自治会の「活動」について	・・・ 10
「町会長・自治会長の活動」について	・・・ 14
貴町会・自治会の「広報活動」について	・・・ 16
貴町会・自治会の「加入促進活動」について	・・・ 17
貴町会・自治会の「運営に関する課題」について	・・・ 20
貴町会・自治会の「行政との協働」について	・・・ 23
集計結果（連合町会分）	・・・ 29
貴連合町会の「概要」について	・・・ 29
貴連合町会の「活動」について	・・・ 31
まとめ　～今後の方向性～	・・・ 38
別紙1　調査票（町会・自治会用）	・・・ 45
別紙2　調査票（連合町会用）	・・・ 59

実施概要

1 目的

全町会・自治会に対し、区内の町会等の現状・課題を詳細に調査し、現在及び将来的な構造変化に対応する効果的な施策形成の基礎データとして活用する。

なお、調査内容で必要と思われるものについては可能な限り施策に反映し、地域コミュニティの持続的な活性化のために活用する。

2 調査期間

(1) 選択式回答調査

平成30年4月27日(金)[調査票郵送]から6月6日(水)まで

(2) 聴き取り調査及び調査票回収期間

ア) 町会・自治会用

平成30年5月14日(月)から6月6日(水)までのいずれか1日

町会・自治会調査については地域担当員により、各町会長等へのコミュニティ推進活動助成金等の説明及び申請書の回収と同時に実施

イ) 連合町会用

平成30年10月初旬から10月中旬までのいずれか1日

連合町会調査については区地域活動推進課職員が実施

3 調査対象及び回収状況

(1) 区内全町会・自治会(170町会・自治会配布): 回収率100.0%

(2) 区内全連合町会(22連合町会配布): 回収率100.0%

4 調査内容(調査票)

(1) 町会・自治会用: 別紙1のとおり(45ページ参照)

(2) 連合町会用: 別紙2のとおり(59ページ参照)

5 実施スケジュール

平成30年

4月12日(木) 全町会長・自治会長会議にて概要説明

4月27日(金) 町会等への調査票配布(郵送)、選択式回答調査開始

5月8日(火) 地域担当員への調査説明

5月14日(月) 聴き取り調査実施及び調査票回収(町会・自治会)

~6月6日(水)

7月中旬 集計結果まとめ、報告書作成開始

9月13日(木) 区議会第3回定例会地域子ども文教委員会にて中間報告
(集計速報)

10月初旬~中旬 聴き取り調査実施及び調査票回収(連合町会)

11月14日(水) 全国自治会連合会東京大会で中間報告

12月3日(月) 区議会第4回定例会地域子ども文教委員会にて最終報告

12月中旬~ 報告書公表(区のお知らせ、区ホームページ等)

各町会・自治会へ配布

6 その他

経年変化等の把握のため、本調査は3年に1度程度実施する。

集計結果（町会・自治会分）

注）表中「割合」は、回答数が、区内町会・自治会数（170 町会・自治会回答）のうち何%を占めるか（何%の町会・自治会がそのように回答したか）を示したもの。

可能であれば、本調査の回答は、貴町会・自治会等の役員会等でお話し合い又は情報共有等をした上で行ってください（～ のいずれかに をご記入ください）。

	回答数	割合
役員数名で相談して回答した	49	28.8%
回答内容の情報共有を行った	24	14.1%
何も行わなかった	22	13.0%
未回答	75	44.1%
合計	170	

貴町会・自治会の「概要」について

Q1 結成時期はいつですか。

約6割の町会・自治会が60年以上の歴史を持っている。

昭和20年代に結成された町会・自治会が約半数の84団体（49.3%）、戦前に結成されたものも23団体（13.5%）ある。一方、平成以降に設立されたものは11団体（6.5%）と1割未満であり、本区にある町会・自治会の約6割が60年以上の古い歴史を持つ。

	回答数	割合
戦前	23	13.5%
昭和20年代	84	49.3%
昭和30年代	20	11.8%
昭和40年代	11	6.5%
昭和50年代～昭和60年代	14	8.2%
平成以降	11	6.5%
不明	4	2.4%
未回答	3	1.8%
合計	170	

Q2 規約等がありますか。

町会・自治会の約98%に規約がある。

約98%の町会・自治会が規約に基づき運営されている。

	回答数	割合
ある	167	98.2%
ない	0	0.0%
その他	0	0.0%
未回答	3	1.8%
合計	170	

Q3 法人を会員（または賛助会員等）としている場合、法人会員数はいくつですか。団体数を記入し、会員・賛助会員・その他 のいずれかに をご記入ください。

法人を会員または賛助会員等としている町会・自治会は約 36%である。

法人を会員または賛助会員等としている町会・自治会は 61 団体（35.9%）あり、そのうちの約 8 割が法人も個人と同様の会員として扱っている。

	回答数	割合
会員	47	27.6%
賛助会員	14	8.2%
その他	3	1.8%
未回答	106	62.4%
合計	170	

Q4 会費（年間）はいくらですか。

1人当たり 3,000 円台が最も多い。

町会等の年会費については、3,001 円から 4,000 円の間が 33.6%と最も多く（ ）次いで 2,001 円から 3,000 円の間が 20.0%（ ）と、半数以上の団体がその金額帯となっている。

以下の回答は、金額が明確ではないため、対象外とした。

会費に最低額と最高額がある場合（ 円～ 円）

会費の最低額と最高額が未確定の場合（ 円～、～ 円）

[対象団体数] 110 団体（170 団体中）

当表中の割合は、回答数 / 110 団体（合計）

年会費（1人当たり）	回答数	割合
0 円～1,000 円	6	5.5%
1,001 円～2,000 円	6	5.5%
2,001 円～3,000 円	22	20.0%
3,001 円～4,000 円	37	33.6%
4,001 円～5,000 円	16	14.5%
5,001 円～6,000 円	16	14.5%
6,001 円～	7	6.4%
合計	110	100.0%

うち、2,400 円が 13 件
うち、3,600 円が 33 件
うち、4,800 円が 13 件
うち、6,000 円が 16 件
うち、12,000 円が 6 件

[一団体あたりの平均額] 4,230 円 / 年

Q5 貴町会・自治会は独自の会館を所有していますか（集合住宅内の集会室等は除きます）。

独自の会館を有している町会・自治会は約52%。
金銭的な負担に関しては公的資金での支援を希望している。

	回答数	割合
ある	89	52.3%
ない	78	45.9%
未回答	3	1.8%
合計	170	

独自の会館を有している町会・自治会は89団体（52.3%）、そのうち会館を単独で所有している町会・自治会は85団体あった。また、会館以外によく利用する施設は、「集会所」が約3割の54団体と最も多い。一方、「コミュニティ会館・センター」「地域プラザ（本所・八広）」「他の区施設」などの行政施設はそれぞれが1割未満の利用となっている。

会館建設・改修等に関する支援策については、現行補助金事業の上限金額の増額を希望する団体が33団体（19.4%）と最も多く、次いで、区による融資あっせん和利子補助が17団体（10.0%）など、公的資金での支援を希望するニーズがある。

ア) 「ある」とお答えした場合は、会館をどのように保有していますか。

	回答数	割合
町会で単独所有している	85	95.5%
複数の町会で共用している	3	3.4%
未回答	1	1.1%
合計	89	

イ) 町会・自治会の活動で会館以外によく利用する施設はどこですか。あてはまるもの全てをご記入ください。

	回答数	割合
地域プラザ（本所・八広）	11	6.5%
集会所	54	32.0%
地区会館	4	2.4%
コミュニティ会館・センター	16	9.5%
他の区施設	15	8.9%
民間施設	7	4.2%
個人の住宅など	11	6.5%
その他	29	17.2%
合計	147	

回答した町会・自治会数は125団体

ウ) 区では、主たる町会・自治会会館建設等の経費の一部を補助する「町会・自治会 会館建設等補助金」事業を行っています。会館建設・改修等に関して、現行事業の他どのような支援があれば最も活用したいと思いますか。

	回答数	割合
区による融資あっせんと利子補助	17	10.0%
地元金融機関等による独自の低金利融資	2	1.2%
現行補助金事業の上限金額の増額	33	19.4%
現状では購入・改修等は考えていない	84	49.4%
その他	9	5.3%
未回答	25	14.7%
合計	170	

Q6 認可地縁団体についてお伺いします。

法人化促進のための更なる行政支援とPRが求められる。

既に認可地縁団体になっている町会・自治会は60団体(35.3%)あるほか(現時点で61団体)、「前向きに検討中である」または「区や金融機関等の支援条件に必要であれば検討する」と回答した団体は18団体(10.6%)あった。一方で、予定がない団体が79団体(46.4%)と半数近くであるが、そのうち、「手続き等を行う人材がいないため」(13団体、16.5%)、「認可地縁団体となるための方法がわからないため」(11団体、13.9%)などを理由に挙げていることから、法人化促進の更なる行政支援とPRが求められる。

ア) 貴町会・自治会は今後、認可地縁団体となる予定はありますか。

	回答数	割合
すでになっている	60	35.3%
近々なる予定である	0	0.0%
前向きに検討中である	10	5.9%
区や金融機関等の支援条件に必要であれば検討する	8	4.7%
今のところ予定はない	79	46.4%
どちらとも言えない	4	2.4%
その他	0	0.0%
未回答	9	5.3%
合計	170	

イ) 【Q6 ア)で「今のところ予定はない」を選んだ方に伺います。】

貴町会・自治会が認可地縁団体化を考えていないのはなぜですか。あてはまるもの全てにご記入ください。

	回答数	割合
会館等の不動産を所有していないため	58	58.6%
役員等の変更のたびに所有権を変更しているため	4	4.0%
認可地縁団体となるための方法がわからないため	11	11.1%
認可に必要な書類等の準備に手間がかかるため(構成員名簿・規約の整備等)	7	7.1%
手続き等を行う人材がないため	13	13.1%
その他	6	6.1%
合計	99	

割合は、回答数/99(合計)

Q7 貴町会・自治会の役員についてお伺いします。

役員については、高齢化と世代交代の停滞、女性参画の不足などが課題である。

役員が30人以上いる団体が75団体(44.1%)と最も多く、7割以上が20人以上の役員で運営されている。しかし、主要役員の年代については、6割近い団体が70歳代以上と高齢化が著しく、50歳代以下の役員が3人以下の団体は78団体(45.9%)あるなど、役員の世代交代が課題である。さらに、女性の役員については、83団体(48.8%)が5人以下であるなど、運営に関し、更なる女性の参画が求められる。

なお、役員は8割以上の団体で他薦により選出され、任期は2年が75.2%と最も多い。

ア) 役員の数は何人ですか。

	回答数	割合
10人未満	7	4.1%
10~20人未満	34	20.0%
20~30人未満	53	31.2%
30人以上	75	44.1%
未回答	1	0.6%
合計	170	

イ) 主要役員()の年代は何歳代ですか。

	回答数	割合
40代以下	5	3.0%
50代	14	8.2%
60代	79	46.5%
70代	93	54.7%
80代以上	3	1.8%
合計	194	

複数回答あり。

主要役員とは、原則として規約等に定める役職。

ウ) 役員のうち、女性は何人いますか。

	回答数	割合
いない	13	7.6%
1人	14	8.2%
2人	12	7.1%
3人	18	10.6%
4～5人	26	15.3%
6～10人未満	42	24.7%
10人以上	39	22.9%
未回答	6	3.6%
合計	170	

エ) 役員()のうち、50歳代以下は何人いますか。

	回答数	割合
いない	30	17.6%
1人	20	11.9%
2人	14	8.2%
3人	14	8.2%
4～5人	41	24.1%
6～10人未満	28	16.5%
10人以上	22	12.9%
未回答	1	0.6%
合計	170	

役員とは、原則として規約等に定める役職のほか、子供会等、関係がある団体等の役員に就いている方を含む。

オ) 役員はどのような方法で選出していますか。

	回答数	割合
推薦(他薦)	140	82.4%
推薦(自薦)	18	10.6%
輪番制	20	11.8%
選挙	15	8.8%
その他	7	4.1%
合計	200	

複数回答あり。

カ) 役員の任期は何年ですか。

	回答数	割合
1年未満	1	0.6%
1年	10	5.9%
2年	128	75.2%
3年	1	0.6%
4年	0	0.0%
5年以上	0	0.0%
決まっていない	28	16.5%
未回答	2	1.2%
合計	170	

規約の有無に対し未回答であった3団体のうち2団体は を回答(Q2:2～3ページ参照)。

Q8 役員会、総会の参加状況（平均）についてお伺いします。

会員の運営参加に課題がある。

役員会に毎回 20 人以上の役員が参加している団体が半数あり、総会は「委任状がほとんどで、ほぼ役員だけが参加している」団体が約 4 割近くあるなど、会員の運営参加に課題がある。役員会での議題は、「運営・活動報告」（166 団体、97.6%）、「行政から依頼されたもの」（136 団体、80%）、「町会・地域等の課題」（128 団体、75.3%）が主である。

ア) 「役員会」における役員の参加状況（平均）はどうか。

	回答数	割合
5 人未満	0	0.0%
6～10 人未満	16	9.4%
10～20 人未満	69	40.6%
20 人以上	85	50.0%
未回答	0	0.0%
合計	170	

イ) 「役員会」ではどのようなことを話し合っていますか。あてはまるもの全てにご記入ください。

	回答数	割合
運営・活動報告	166	97.6%
組織の存続・将来	66	38.8%
地域住民等のトラブル	73	43.2%
町会・地域等の課題	128	75.3%
行政から依頼されたもの	136	80.0%
行政等に対する要望・提案	67	39.4%
その他	6	3.5%
合計	642	

ウ) 「総会」における会員の参加状況（平均）はどうか。

	回答数	割合
委任状がほとんどで、ほぼ役員だけが参加している	66	38.8%
1～2 割の住民が総会に参加する	52	30.6%
2～5 割の住民が総会に参加する	23	13.5%
5 割を超える住民が総会に参加する	4	2.4%
規約や規定で役員だけの総会としている	1	0.6%
その他	13	7.6%
未回答	11	6.5%
合計	170	

Q9 貴町会・自治会や地域の活動の中では、男女を問わず20歳代から50歳代程度までの若手人材が参加していますか。

若手人材の活用は進んでいるものの、更なる人材の増加が課題である。

20歳代から50歳代程度までの若手人材については、「既に役員等の役割を担っている」(139団体、81.7%)、「機会があれば積極的に協力してもらっている」(95団体、55.9%)など、運営の中に若手人材の活用を図っている町会・自治会も多い。今後とも、若手人材を更に増やすことで、円滑な世代交代を図っていく必要がある。

	回答数	割合
既に役員()等の役割を担っている	139	81.7%
機会があれば積極的に協力してもらっている	95	55.9%
要望があれば受け入れている	27	15.9%
若手住民等との対話の機会を設けている・設けるよう努めている	30	17.6%
現在はないが、今後は協力関係を築きたい	26	15.3%
参加の必要性を感じていない	3	1.8%
参加については把握していない	2	1.2%
その他	7	4.1%
合計	329	

役員とは、原則として規約等に定める役職のほか、子供会等、関係がある団体等の役員に就いている方を含む。

貴町会・自治会の「活動」について

Q10 貴町会・自治会が普段行っている活動についてお伺いします。

9割前後の町会・自治会で「環境美化活動」「交通安全推進活動」「防災活動」「防犯活動・子ども見守り活動」「祭りなどの文化行事」を実施している。

9割以上の町会・自治会で「環境美化活動」「交通安全推進活動」「防災活動」「防犯活動・子ども見守り活動」「祭りなどの文化行事」を実施しており、参加状況も高くなっている。一方、「助け合い活動」の実施、参加状況は、相対的に少ない。また、このまま役員の高齢化が進むと、このような助け合い活動や防災訓練が困難になるという回答も見られ、加えて「会費等の集金」「パソコン・スマートフォン等の活用」など、資金や情報の収集という運営の基盤維持に対する不安も多い。

ア) 貴町会・自治会は普段、どのような活動を行っていますか。また、実施している活動の参加状況はいかがですか。下表の中で「実施している」の欄に を、「参加状況」の欄にあてはまる番号(下記 ~)をそれぞれご記入ください。

非常に良い
良い
悪い
非常に悪い
どちらとも言えない

さらに、今後実施を希望する活動はありますか。あれば「実施希望あり」の欄に をご記入ください。

	実施している	参加状況		
		非常に良い	良い	悪い
環境美化活動（清掃・リサイクルなど）	166 97.6%	44 26.5%	97 58.4%	6 3.6%
交通安全推進活動	157 92.4%	35 22.3%	95 60.5%	9 5.7%
防災活動（災害の予防や災害時の対策等）	166 97.6%	39 23.5%	89 53.6%	15 9.0%
町内の親睦のための各種活動（旅行会・交流会など）	131 77.1%	24 18.3%	67 51.1%	17 13.0%
助け合い活動（高齢者・障がい者への支援など）	118 69.4%	13 11.0%	68 57.6%	18 15.3%
防犯活動・子ども見守り活動（防犯パトロールなど）	154 90.6%	27 17.5%	90 58.4%	8 5.2%
他町会等との交流を図る活動（親睦会など）	116 68.2%	20 17.2%	71 61.2%	8 6.9%
子どもを対象とした活動（お楽しみ会など）	130 76.5%	41 31.5%	67 51.5%	2 1.5%
祭りなどの文化行事	161 94.7%	79 49.1%	60 37.3%	5 3.1%
地域財産や建物などの共同管理	33 19.4%	7 21.2%	20 60.6%	1 3.0%
行政への要望	46 27.1%	4 8.6%	23 50.0%	0 0.0%
その他	2 1.2%	0 0.0%	2 100%	0 0.0%
合計	1380	333	749	89

	参加状況		実施希望あり
	非常に悪い	どちらとも言えない	
環境美化活動（清掃・リサイクルなど）	2 1.2%	4 2.4%	6 3.5%
交通安全推進活動	1 0.6%	6 3.8%	7 4.1%
防災活動（災害の予防や災害時の対策等）	2 1.2%	9 5.4%	7 4.1%
町内の親睦のための各種活動（旅行会・交流会など）	2 1.5%	9 6.9%	10 5.9%
助け合い活動（高齢者・障がい者への支援など）	1 0.8%	7 5.9%	17 10.0%
防犯活動・子ども見守り活動（防犯パトロールなど）	2 1.3%	11 7.1%	9 5.3%
他町会等との交流を図る活動（親睦会など）	2 1.7%	5 4.3%	8 4.7%
子どもを対象とした活動（お楽しみ会など）	2 1.5%	3 2.3%	8 4.7%
祭りなどの文化行事	1 0.6%	2 1.2%	5 2.9%
地域財産や建物などの共同管理	0 0.0%	3 9.1%	7 4.1%
行政への要望	0 0.0%	9 19.6%	15 8.8%
その他	0 0.0%	0 0.0%	2 1.2%
合計	15	68	101

「参加状況」は未回答あり。

イ) 貴町会等の活動の中で、このまま役員の高齢化が進むと実施が困難であると思われる活動は何ですか。あてはまるもの全てに をご記入ください。

	回答数	割合
会費等の集金	67	39.4%
回覧板等による情報提供	39	22.9%
パソコン・スマートフォン等の活用	69	40.6%
募金活動	38	22.4%
清掃・リサイクル活動	51	30.0%
防犯・防災パトロール	69	40.6%
防災訓練	79	46.5%
助け合い・見守り活動(高齢者・障がい者への支援など)	76	44.7%
町内の親睦活動(旅行会・交流会など)	53	31.2%
その他	8	4.7%
合計	549	

Q11 地域の他の組織や団体との協力関係についてお伺いします。下表ア)イ)について、あてはまるもの全てに をご記入ください。

「密接」に協力関係があるのは「老人会」と「子ども会」、
「関係がない」のは「大学・高専・専門学校」「NPO」の外部団体である。

地域の他組織・団体との協力関係は、「密接」に協力関係があるのは「老人会」と「子ども会」、「必要時に」は「小中学校・PTA」「消防団」「社会福祉協議会」「地元に事務所がある企業・事業所」となっている。「情報交換のみ」は「介護施設等の社会福祉施設」「地元に事業所がある企業・事業所」や「商店街」、「協力関係なし」は「大学・高専・専門学校」「NPO」の外部団体などとなっており、協働により活性化に繋がる可能性のある組織、団体などとの関係構築に課題がある。

また、「今後協力を密にしていきたい団体」については、回答は少なかったが、「マンション管理組合・不動産業者」(9.4%)、「消防団」(8.2%)が高い順となっている。

ア) 地域の他の組織や団体との協力関係はありますか。

イ) 今後の活動において、特に協力関係を密にしていきたいと思う団体は何ですか。

	ア)				イ) 今後協力を 密にしたい 団体
	密接な協力 関係あり	必要に応じて 協力あり	情報交換 のみで直接の 協力なし	協力関係なし	
小中学校・P T A	63 37.1%	92 54.1%	10 5.9%	4 2.4%	8 4.7%
消防団	50 29.4%	94 55.3%	14 8.2%	8 4.7%	14 8.2%
商店街	10 5.9%	31 18.2%	18 10.6%	64 37.6%	4 2.4%
社会福祉協議会	43 25.3%	87 51.2%	17 10.0%	7 4.1%	7 4.1%
地元に事務所がある 企業・事業所	8 4.7%	69 40.6%	23 13.5%	37 21.8%	9 5.3%
老人会 (町会等と独立した)	99 58.2%	30 17.6%	5 2.9%	15 8.8%	8 4.7%
子ども会 (町会等と独立した)	77 45.3%	28 16.5%	5 2.9%	22 12.9%	9 5.3%
大学・高専・専門学校	0 0.0%	8 4.7%	10 5.9%	90 52.9%	8 4.7%
マンション管理組合 ・不動産業者	13 7.6%	57 33.5%	20 11.8%	46 27.1%	16 9.4%
保育所	15 8.8%	27 15.8%	15 8.8%	66 38.8%	7 4.1%
介護施設等の社会福祉 施設	13 7.6%	38 22.4%	25 14.7%	46 27.1%	10 5.9%
N P O	2 1.2%	12 7.1%	7 4.1%	87 51.1%	7 4.1%
その他	3 1.8%	1 0.6%	0 0.0%	7 4.1%	0 0.0%
合計	396	574	169	499	107

Q12 現在の財政状況で、十分な活動は出来ていますか。

約 8 割の町会・自治会は、現在の財政状況で運営出来ている。

「現状収入で出来ている」「なんとか出来ている」を合わせると、133 団体（78.2%）の町会・自治会が現在の財政状況で運営が出来ている。ただし、聴き取りした内容では、高齢化や未加入世帯の増加など、活動予算の不足に関する意見が多い。

	回答数	割合
現状の収入で出来ている	43	25.3%
なんとか出来ている	90	52.9%
やや不足している	27	15.9%
大きく不足している	6	3.5%
どちらとも言えない	2	1.2%
未回答	2	1.2%
合計	170	

「町会長・自治会長の活動」について

約 8 割強の町会・自治会の会長は 70 歳以上と高齢で、約 4 割強の会長が、月 1/3 以上を町会等の活動にあてている。

会長の年齢が 70 歳以上である団体は 141（82.9%）あり、職業は、44.7%が「自営業」、25.2%が「無職」である。また、会長の 1 月あたりの団体活動日数は、「10 日未満」が 52.9%である一方、「10 日以上」が 45.3%と、約 4 割強の会長が、月 1/3 以上を町会等の活動にあてている。さらに、会長・役員等が町会等の活動を行う際の費用は、約 6 割（62.4%）が「会長・役員等が個人で負担している、あるいは、たまに負担している」と回答しており、金銭的な負担もかかっている。

Q13 会長の年齢（年代）、職業についてお答えください。

ア) 年代

	回答数	割合
40 代以下	0	0.0%
50 代	3	1.8%
60 代	24	14.1%
70 代	99	58.2%
80 代以上	42	24.7%
未回答	2	1.2%
合計	170	

イ) 職業

	回答数	割合
自営業（製造業等）	38	22.4%
自営業（商業・サービス業等）	38	22.4%
自由業・専門職	11	6.5%
会社役員・団体役員	23	13.5%
会社員・公務員	5	2.9%
無職	43	25.2%
その他	12	7.0%
合計	170	

Q14 会長の職以外に務めている役職はありますか。あてはまるもの全てに をご記入ください。

	回答数	割合
青少年委員	28	16.5%
警察関係の委員	31	18.2%
消防関係の委員	25	14.7%
小中学校関係の委員（外部評価委員など）	72	42.4%
施設の運営委員	25	14.7%
消防団員	2	1.2%
民生委員	7	4.1%
児童委員	6	3.5%
その他	37	21.8%
合計	233	

Q15 会長はどのような方法で選出されますか。

	回答数	割合
推薦（他薦）	147	86.5%
推薦（自薦）	3	1.8%
輪番制	4	2.3%
選挙	15	8.8%
その他	1	0.6%
合計	170	

Q16 会長は、町会・自治会の活動に、月何日程度従事していますか。

	回答数	割合
5日未満	14	8.2%
5日～10日未満	76	44.7%
10日～20日未満	55	32.4%
20日以上	22	12.9%
未回答	3	1.8%
合計	170	

Q17 会長や役員等が町会等の活動を行う際の費用はどのように負担していますか。

	回答数	割合
町会等が全て負担している	62	36.5%
会長・役員等が個人で負担していることがたまにある	77	45.3%
会長・役員等が個人で負担していることが多い	27	15.9%
会長・役員等が全て個人で負担している	1	0.6%
その他	3	1.7%
合計	170	

貴町会・自治会の「広報活動」について

Q18 貴町会・自治会の活動に関する情報はどのような方法で提供していますか。あてはまるもの全てに をご記入ください。

団体内外への活動内容の積極的な発信が課題である。

会員等への情報提供は、9割以上の団体が回覧板、掲示板により行っている。独自の広報紙を作成して発信している団体は半数に満たず、また、独自のホームページ等の電子媒体で発信している団体は38団体と全町会・自治会数の2割程度となっており、団体内外への活動内容の発信についてインターネット等の活用が進んでいない状況がある。

	回答数	割合
回覧板、掲示板などで会員に提供している	155	91.8%
回覧板、掲示板などで会員以外にも提供している	79	46.5%
独自の広報紙を作成して発信している	74	43.5%
実際の活動の場で提供している	41	24.1%
町会会館などの集会施設に掲示している	54	31.8%
区の施設に掲示している	9	5.3%
他団体の施設に掲示している	2	1.2%
他の団体の広報誌に掲載依頼をしている	0	0.0%
独自のホームページ等の電子媒体で発信している()	38	22.4%
特に何もしていない	1	0.6%
その他	3	1.8%
合計	456	

ホームページ：27件、ブログ：8件、フェイスブック：3件

貴町会・自治会の「加入促進活動」について

Q19 転入者やマンション住民などの未加入者への加入呼びかけは行っていますか。あてはまるもの全てに をご記入ください。

未加入者との積極的な交流の機会や場が少ない。

未加入者への加入呼びかけは、直接訪問をしたり(51.2%)、マンションの管理会社や管理人、不動産業者を通して(60.0%)行っている。一方、会員との交流の機会や場を設けている団体は1割未満である。

	回答数	割合
直接訪問して勧誘している	87	51.2%
マンションの管理会社や管理人、不動産業者を通して勧誘している	102	60.0%
お祭りやイベントの時にパンフレットなどを配布している	47	27.6%
開発段階でデベロッパーと覚書を交わすなど、協力を依頼している	66	38.8%
パンフレットなどをポストへ投函している	28	16.5%
会員と未加入者等との交流の機会・場を設けて行っている	14	8.2%
特に行っていない	15	8.8%
その他	12	7.1%
合計	371	

Q20 貴町会・自治会に新たに加入した方々に対するその後の対応についてお伺いします。

新規加入者に対し「頻繁に」地域に溶け込む工夫を行っている団体は約14%と少ない。

新たに加入した方々に対し、地域にうまく溶け込むための工夫は「頻繁に行っている」「時々行っている」団体が117団体(68.8%)、「積極的には行っていない」団体が46団体(27.1%)と、更なるきっかけづくりが必要である。

ア) 貴町会・自治会に新たに加入した方々が、地域にうまく溶け込むための工夫は自主的に行っていますか。

	回答数	割合
頻繁に行っている	23	13.5%
時々行っている	94	55.3%
積極的には行っていない	46	27.1%
全く行っていない	2	1.2%
その他	3	1.7%
未回答	2	1.2%
合計	170	

イ) 【Q20 ア)で「 頻繁に行っている」「 時々行っている」を選んだ方に伺います。】新規会員に対し、具体的にはどのようなことを行っていますか。あてはまるもの全てにご記入ください。

	回答数	割合
役員等が定期的に新規会員宅に訪問し、必要があれば支援の仲介をしている	18	8.0%
役員等が会員宅付近や路上等で日常的に声掛けをしている	51	22.8%
交流や対話の場を定期的に設け、参加してもらっている	18	8.0%
行政や関係機関等から新たな情報があったときは、役員等が訪問して提供している	22	9.8%
祭礼やイベント等がある場合に参加の声掛けをしている	101	45.1%
インターネットやスマートフォン等を活用して情報交換をしている	9	4.0%
その他	5	2.3%
合計	224	

割合は、回答数 / 117 (Q20 ア) の回答数)。

ウ) 【Q20 ア)で「 積極的には行っていない」「 全く行っていない」を選んだ方に伺います。】新規会員に対し、具体的な対応を行っていないのはなぜですか。あてはまるもの全てにご記入ください。

	回答数	割合
必要性を感じていないため	4	8.3%
オートロック等により会員宅を訪問することができない	22	45.8%
訪問しても不在のことが多い	26	54.1%
会員が役員等との交流までは望んでいない	21	43.8%
その他	6	12.5%
合計	79	

Q21 貴町会・自治会への加入者を増やす方法について伺います。

直接訪問による勧誘やイベント等の際のパンフレット等を使つてのPRが主である。

加入者を増やす方法としては「直接訪問して勧誘する」が94団体(55.3%)、「お祭りやイベントの時にパンフレットなどを配布する」が83団体(48.8%)などとなっている。一方、「会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場を増やす」ことが必要だと思う団体は28団体(16.5%)と低くなっている。

また、町会等の役割や活動等を理解してもらうために必要なことは、「町会等の機関紙及びその充実」が60団体(35.3%)、1枚程度の「PRチラシ・リーフレット」が59団体(34.7%)となっている。

ア) 未加入世帯に対し、どのようなことが必要だと考えますか。あてはまるもの全てにご記入ください。

	回答数	割合
直接訪問して勧誘する	94	55.3%
マンションの管理会社や管理人、不動産業者を通して勧誘する	2	1.2%
お祭りやイベントの時にパンフレットなどを配布する	83	48.8%
開発段階でデベロッパーと覚書を交わすなど、協力を依頼する	71	41.8%
パンフレットなどをポストへ投函する	0	0.0%
町会・自治会の成り立ち、意義、活動内容などについて理解を深めてもらう	47	27.6%
会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場を増やす	28	16.5%
特に必要ない	8	4.7%
その他	2	1.2%
合計	335	

イ) 未加入者等(子どもから大人まで)に町会の役割や活動等を理解してもらい、関心を高めってもらうためには、どのようなものが必要だと思いますか。あてはまるもの全てにご記入ください。

	回答数	割合
図や写真、イラスト等を多用したPRチラシ・リーフレット(1枚程度のもの)	59	34.7%
漫画仕立ての物語形式により若年層にもわかりやすく理解できる小冊子	28	16.5%
町会等の機関紙及びその充実	60	35.3%
パソコンやスマートフォン等により誰でもどこでも見られるPR動画	26	15.3%
町会費の使い方を説明した資料	49	28.8%
町会活動を知るためのイベント・講座	53	31.1%
特に必要ない	10	5.9%
その他	9	5.3%
合計	294	

貴町会・自治会の「運営に関する課題」について

Q22 貴町会・自治会の運営に関する課題にはどのようなものがありますか。あてはまるもの全てにご記入ください。

地域の活性化不足や人間関係の交流構築等が課題である。

運営の課題として、「活動の参加者が少ない」が 85 団体（50.0%）、「住民の関心が少ない」が 87 団体（51.2%）、「活動内容が慣例化している」77 団体（45.3%）など、住民の関心度不足や運営の硬直化を挙げる団体が多い。その他「世代間交流が難しい」が 74 団体（43.5%）、「新旧住民の交流が難しい」が 75 団体（44.1%）など、活動への取り込みの困難さを挙げる団体も多い。

	回答数	割合
活動の参加者が少ない	85	50.0%
活動内容が慣例化している	77	45.3%
住民の関心が少ない	87	51.2%
世代間交流が難しい	74	43.5%
活動の指導者がいない	42	24.7%
新旧住民の交流が難しい	75	44.1%
外国人住民との交流が難しい	36	21.1%
他の組織・人材との連携が弱い	13	7.6%
他の地域との連携が弱い	12	7.1%
活動のPRが不足している	26	15.3%
活動のための情報が不足している	11	6.5%
未加入世帯が多い	29	17.1%
予算が不足している	23	13.5%
活動や会議をする場所が少ない	12	7.1%
会員の情報が入手しにくい	27	15.9%
その他	10	5.9%
合計	639	

【表】Q22 自由意見一覧

Q22 貴町会・自治会の運営に関する課題にはどのようなものがありますか。
<p>活動の参加者が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建売住宅などの転入者は、町会費を払えば、特に町会活動に参加しないという状況である。 ・ 70才を超えても働いていて、高齢者に対しての協力が難しい状況である。 ・ 定年した人は、町会との距離を感じているようで活動につながらない。 ・ 高齢化が進んでおり、このままでは活動に支障が生じる。 ・ 体力的に自信のない居住者が増加している。 ・ 今後、子供から高齢者までの交流の場を増やす必要がある。
<p>活動内容が慣例化している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動が義務的で、楽しめる活動になっていない。 ・ 予算内でできることには限界がある。 ・ 他の組織や地域との連携の方法が分からない。
<p>住民の関心が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人は、受益につながることは参加するが、進める側になろうとしない。 ・ 役員と住民のつながりを持つ事が大切である。 ・ お祭りには積極的に参加するが、その他の行事は参加者が少ない。 ・ 活動の新しいアイデアが出ない（高齢化のため）。 ・ 総科的ではなく、子育て世代に焦点をあてた加入活動が必要である。
<p>世代間交流が難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お花見会、ボウリング大会、納涼祭り、ラジオ体操は世代を超えた参加者が多い。 ・ 毎年春と秋に行われるとん汁まつりや餅つき大会には特に関心度が高く、様々な年齢層が参加する。
<p>活動の指導者がいない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 副会長は引き受けてもらっても、会長となると候補者は尻込みする。 ・ 町会活動をリードする人材がない。 ・ 町会の行事が多く、役員は自営業でないと難しい。 ・ 若い会員の方に町会行事の時だけでも協力していただける協力隊を今年から募集する予定である。 ・ 女性役員が少ない。
<p>新旧住民の交流が難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども向けの行事を実施すると親も来るので、マンションに住む若い世代には町会加入を進める良い機会になる。 ・ 新しい住民の参加できる事業を企画している。 ・ 新旧住民の町会に対する意識が大きく違う。
<p>外国人住民との交流が難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人居住者が増え町会制度を理解してもらうのに苦労している。 ・ 最近外国人が入居してきており、地域のルールなど、言葉の問題でコミュニケーションを取りにくい。 ・ 外国人への接し方について、何らかの手助けが必要。
<p>他の組織・人材との連携が弱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町会、老人会、子供会、三世代が参加している家が多くなると、町会活動は回って行くと思う。

他の地域との連携が弱い
・近隣町会との繋がりはお祭り、防災活動等で行っている。
活動のPRが不足している
・広報紙の必要性を感じている。担当する人材を探していきたい。 ・町会の掲示板だけではPRが行き届かない面もある。 ・情報発信ツールを活用できる若手がいない。
活動のための情報が不足している
・他町会の活動との共同ウェブサイト等があると便利である。
未加入世帯が多い
・賃貸物件の住民とは接触することさえ困難であり、情報を得ることができない。 ・マンション対策をしなければ町会は消滅する。 ・マンション等の集合住宅の場合、行政からも管理組合へも働きかけを行う必要があると思う。 ・ワンルーム世帯が増加し、地域に対する関心が低くなっている。 ・マンション建設の際、居住者へ町会加入を働きかけるよう依頼し、協議書を渡すが、それっきりである。
予算が不足している
・町会費を払わない（非会員）世帯が少しずつ増えている。 ・イベントを行えば人は集まるが、予算が不足する。 ・活動しやすくなる備品（椅子等）がほしい。
活動や会議をする場所が少ない
・町会会館が老朽化、かつ狭いため、地域住民のニーズに応えられない。 ・他の施設での会議設定は、やりづらいところがある。 ・地域の様々な活動を継続するにあたり、打ち合わせ場所や備品倉庫等の確保を行政にしていきたい。 ・町会員が自由にお茶飲み、食事ができたりする「サロン」がほしい（場所がない）。
会員の情報が入手しにくい
・プライバシー意識が強い居住者が多く、互助、共助の意識が希薄。 ・現在、法人化の署名に苦労している。
その他
・会員は協力的である。

貴町会・自治会の「行政との協働」について

Q23 貴町会・自治会が行政に実施してもらいたい支援や協力は何ですか。あてはまるもの全てにご記入ください。

加入促進や財政支援を挙げる団体はそれぞれ約6割ある。

「住民に対して町会・自治会への加入や活動参加を促進するための施策」が105団体(61.8%)や「運営に対する補助金や助成金など財政的な支援」が101団体(59.4%)など、行政に対する支援を希望する団体がそれぞれ約6割と高い。一方で、「会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場の提供」が30団体(17.6%)や「町会・自治会と他の団体や事業者、人材との協力・協働のコーディネート」の19団体(11.2%)など地域で活躍する人材育成などの支援の希望は相対的に少ない。

	回答数	割合
運営に対する補助金や助成金など財政的な支援	101	59.4%
住民に対して町会・自治会への加入や活動参加を促進するための施策	105	61.8%
地域課題に関する区からの情報提供・実例の紹介や相談などの充実	58	34.1%
町会・自治会の成り立ち、意義、活動内容などについての認識向上	41	24.1%
活動場所確保のための支援	21	12.4%
町会会館の整備に関する支援(会館建設・改修、用地購入等の資金助成、相談等)	60	35.3%
町会・自治会の広報活動に対する支援	47	27.6%
会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場の提供	30	17.6%
町会・自治会と他の団体や事業者、人材との協力・協働のコーディネート	19	11.2%
町会・自治会の認可地縁団体化(法人化)の支援	7	4.1%
パソコン・スマートフォン等の活用支援	24	14.1%
その他	7	4.1%
合計	520	

【表】Q23 自由意見一覧

Q23 貴町会・自治会が行政に実施してもらいたい支援や協力は何か。
運営に対する補助金や助成金など財政的な支援
<ul style="list-style-type: none"> ・町会加入人口が減少し、町会の財政負担が年々厳しくなっている。 ・助成金の算出を「町会加入世帯数」ではなく「町会区域内全世帯数」にしてほしい。 ・警察・消防署等の協会などへの年会費（協賛金）の支払いが多い。 ・補助金及び助成金での支援で助かっているが、もう少し金額が出ればもっと助かる。 ・会館の借地代が数年前より倍額になり、町会にとって非常に大きな負担となっている。 ・助成金の申請を期限までに行っても、予算がないからと断られるのはおかしい。
住民に対して町会・自治会への加入や活動参加を促進するための施策
<ul style="list-style-type: none"> ・区から、町会活動はボランティア活動であると啓発してほしい。 ・町会員が活動参加を促進するための施策をしっかりPRしてほしい。 ・今でも、転入時の窓口での町会加入のパンフレット等の配布は有難いと思います。 ・単身世帯の町会加入の支援をしてほしい。 ・女性役員が少ない。 ・行政等の配布物や会議など、町会活動そのものに無理が生じている。 ・集合住宅を建設するときは、基準を下回る規模のものについても町会への事前説明をするように指導してほしい。 ・賃貸マンションに働きかけがしにくいので、行政と協働で出来るようにしてもらいたい。 ・法人化の署名人数が半数以上は難しすぎるので、改正をお願いしたい。
地域課題に関する区からの情報提供・事例の紹介や相談などの充実
<ul style="list-style-type: none"> ・町会と行政の連携が少ないと感じる。 ・行政がアイデアを出し、そこに町会が賛同していくほうが良いと思う。
町会・自治会の成り立ち、意義、活動内容などについての認識向上
<ul style="list-style-type: none"> ・町会の成り立ち等住民にわかりやすく解説して認識を新たにってもらいたい。 ・新規加入者のために、町会員になることのメリット・デメリットが説明できるパンフレットがほしい。
活動場所確保のための支援
<ul style="list-style-type: none"> ・活動場所がないため、役員会などを開く集会所が必要だが、確保は困難と感じている。 ・子どもから高齢者まで、同時に活動できる場所がほしい（大勢が入れる施設）。 ・近隣集会所について町会行事の使用料は無料にしてほしい。 ・集会所に災害時を想定した上で無料Wi-Fiを設置してほしい。
町会会館の整備に関する支援（会館建設・改修、用地購入等の資金助成、相談等）
<ul style="list-style-type: none"> ・町会会館の老朽化に伴う建て替えに、区からの助成をもらいたい。 ・町会会館の耐震対策をしたいが、金銭的に難しい。
町会・自治会の広報活動に対する支援
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年1月から月1回町会だよりを作成しているので、助成をしてほしい。 ・地域に関係ない情報を町会経由で発信するのはおかしいと思う。 ・コミュニティ掲示板が使いづらいので治して欲しい。

会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場の提供
・大学誘致に伴い、学生対象の事業や複数町会が連携した子ども対象事業等を提供してほしい。
町会・自治会と他の団体や事業者、人材との協力・協働のコーディネート
・隣接町会の連携支援等の検討が必要である。
町会・自治会の認可地縁団体化（法人化）の支援
・会館建設に関して金融機関に相談したが、保証人についての条件が難しかったためあきらめた経緯がある。行政には、法人になるための手続きなどの支援を願いたい。
パソコン・スマートフォン等の活用支援
・若い世代の会員からHPを開設する案がでている。 ・パソコンを貸与してほしい。
その他
・行政は、地域の賛同をえられない事業を、安易に合法だからと言って承認してほしくない。

Q24 行政が実施している支援制度についてお伺いします。

ソフト面で活性化を支援する施策の活用、満足度が低い。

行政の支援制度で活用が一番多いのは、「コミュニティ掲示板助成金」の120団体(70.6%)、「各種防災関係助成金・補助金」の116団体(68.2%)とそれぞれ約7割の団体が活用しており、満足度も高いが、金額面が少ないのが不満となっている。一方で「(東京都)地域の底力発展事業助成」の活用は35団体(20.6%)であり、活性化を支援する施策の活用に課題がある。

ア) 貴町会・自治会が、墨田区や東京都などの行政が実施している支援制度で過去に活用した制度はありますか。下表「ア)活用した」の欄であてはまるもの全てに をご記入ください。

イ) その制度は満足されるものでしたか。下記 ~ から適当なものを選び、下表「イ)満足度」の欄に、質問ア)で選択した事業ごとにご記入ください。

非常に満足
やや満足
やや不満
非常に不満
どちらとも言えない

ウ) 【質問イ)で「 やや不満」「 非常に不満」を選んだ方に伺います。】どのような点が不満でしたか。下記 ~ から適当なものを選び、下表「ウ)不満な点」の欄に、質問ア)で選択した事業ごとにご記入ください。

助成金額・補助金額が少ない
助成金・補助金の実績払いである
制度内容が複雑で使い勝手が悪い
制度を説明する資料・ホームページ等がわかりにくい
提出書類が多く不便である
その他

エ) 今後活用したい制度は何ですか。これも下表「エ)今後活用したい」の欄であてはまるもの全てに をご記入ください。

	ア) 過去に活用 した制度	イ)		
		非常に満足	やや満足	やや不満
a. コミュニティ掲示板助成金	120 70.6%	29 24.2%	52 43.3%	19 15.8%
b. コミュニティ機関紙助成金	71 41.8%	17 23.9%	26 36.6%	12 16.9%
c. わがまち通信局助成金	26 15.3%	6 23.1%	10 38.5%	3 11.5%
d. 認可地縁団体等への登記料助成金	25 14.7%	10 40.0%	6 24.0%	1 4.0%
e. 会館建設等補助金	27 15.9%	13 48.1%	10 37.0%	2 7.4%
f. 会館施設整備補助金	57 33.5%	18 31.6%	25 43.9%	8 14.0%
g. 地域力向上推進事業補助金	19 11.2%	4 21.1%	9 47.4%	0 0.0%
h. ボランティア保険	11 6.5%	1 9.1%	6 54.5%	0 0.0%
i. 各種防災関係助成金・補助金	116 68.2%	31 26.7%	47 40.5%	10 8.6%
j. 地域の底力発展事業助成	35 20.6%	10 28.6%	12 34.3%	3 8.6%
k. その他	2 1.2%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
合計	509	140	203	59

	イ)	
	非常に不満	どちらとも 言えない
a. コミュニティ掲示板助成金	5 4.2%	2 1.7%
b. コミュニティ機関紙助成金	3 4.2%	1 1.4%
c. わがまち通信局助成金	0 0.0%	2 7.7%
d. 認可地縁団体等への登記料助成金	0 0.0%	3 12.0%
e. 会館建設等補助金	0 0.0%	1 3.7%
f. 会館施設整備補助金	1 1.8%	2 3.5%
g. 地域力向上推進事業補助金	0 0.0%	3 15.8%
h. ボランティア保険	1 9.1%	2 4.5%
i. 各種防災関係助成金・補助金	3 2.6%	3 2.6%
j. 地域の底力発展事業助成	2 5.7%	1 2.9%
k. その他	0 0.0%	0 0.0%
	15	20

イ) は未回答あり。

	ウ)			
	金額が少ない	実績払い	制度内容が複雑	説明内容が複雑
a. コミュニティ掲示板助成金	14	3	6	0
b. コミュニティ機関紙助成金	9	1	3	0
c. わがまち通信局助成金	5	1	1	1
d. 認可地縁団体等への登記料助成金	1	0	0	0
e. 会館建設等補助金	1	0	1	0
f. 会館施設整備補助金	9	1	3	1
g. 地域力向上推進事業補助金	0	1	1	0
h. ボランティア保険	1	1	0	1
i. 各種防災関係助成金・補助金	9	3	1	1
j. 地域の底力発展事業助成	2	1	2	1
k. その他	0	0	0	1
合計	51	12	18	6

	ウ)		エ)	
	提出書類多い	その他	今後活用 したい鮮度	
a. コミュニティ掲示板助成金	3	2	29	17.1%
b. コミュニティ機関紙助成金	3	0	29	17.1%
c. わがまち通信局助成金	2	0	11	6.5%
d. 認可地縁団体等への登記料助成金	0	0	14	8.2%
e. 会館建設等補助金	0	0	21	12.4%
f. 会館施設整備補助金	2	0	29	17.1%
g. 地域力向上推進事業補助金	0	0	22	12.9%
h. ボランティア保険	0	0	29	17.1%
i. 各種防災関係助成金・補助金	6	0	25	14.7%
j. 地域の底力発展事業助成	5	0	27	15.9%
k. その他	1	0	2	1.2%
	22	2	238	

ウ)は複数回答あり。

集計結果（連合町会分）

注）表中「割合」は、回答数が、今回調査対象とした連合町会数（22連合町会回答）のうち何%を占めるか（何%の連合町会がそのように回答したか）を示したもの。

貴連合町会の「概要」について

Q1 貴連合町会は独自の会館を所有していますか。

区内の全ての連合町会は、独自の会館を持っていない。

区内の連合町会は、22団体全て独自の会館を持っておらず、約6割が加入町会等の会館を利用して活動している。

	回答数	割合
ある	0	0.0%
ない	22	100.0%
合計	22	

ア) 「ある」とお答えした場合は、会館をどのように保有していますか。

	回答数	割合
連合町会で単独所有している。	0	0.0%
複数の町会で共用している。	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	0	

イ) 「ない」とお答えした場合は、どこで活動していますか。「ない」とお答えした場合は、どこで活動していますか。あてはまるもの全てにご記入ください。

	回答数	割合
加入町会等の会館を利用している。	14	58.3%
会議のたびに会議室を借りている。	2	8.3%
個人の住宅など	0	0.0%
近隣の事業所から借りている。	1	4.2%
その他	7	29.2%
合計	24	

集会所（2件）、ホテル、飲食店、地域プラザなど。

ウ) 連合町会の活動でよく利用する施設はどこですか。あてはまるもの全てにご記入ください。

	回答数	割合
地域プラザ(本所・八広)	1	6.7%
集会所	3	20.0%
地区会館	0	0.0%
コミュニティ会館・センター	3	20.0%
他の区施設	0	0.0%
民間施設	4	26.7%
個人の住宅など	0	0.0%
その他	4	26.7%
合計	15	

小学校(2件)、未使用など。

Q2 貴連合町会の会長についてお伺いします。

連合町会長は任期が短期で、かつ輪番制がほとんどのため、活発な共同事業の実施が難しい。

7割以上の連合町会長は輪番制で決められ、任期は1年(36.4%)から2年(59.1%)がほとんどである。また、役員会の開催も年1、2回の開催や、不定期、役員会なしの回答も多く、合意形成が難しいとの意見がある。

ア) 会長はどのような方法で選出していますか。

	回答数	割合
推薦	5	22.7%
輪番制	16	72.7%
選挙	0	0.0%
その他	1	4.5%
合計	22	

イ) 会長の任期は何年ですか。

	回答数	割合
1年未満	0	0.0%
1年	8	36.4%
2年	13	59.1%
3年	0	0.0%
4年	0	0.0%
5年以上	0	0.0%
決まっていない	1	4.5%
合計	22	

Q3 役員会はどのくらいの頻度で開催していますか。

	回答数	割合
毎月	1	4.5%
隔月	0	0.0%
半年ごと	7	31.9%
その他	13	59.1%
未回答	1	4.5%
合計	22	

年1～15回、不定期（5件）、役員会なし〔総会のみ〕など。

貴連合町会の「活動」について

スケールメリットを生かした防災活動（21.2%）や、祭りなどの文化行事（19.2%）、防犯パトロールなどの防犯活動・子ども見守り活動（13.5%）が主な活動である。

連合町会という広域性を生かすことが有効な、防犯・防災活動、子どもの見守り、お祭りなどの活動が行われている。また、広域事業の実施には町会等相互のコミュニケーションを保つことが有効であることから、町内の親睦のための各種活動（旅行会・交流会など）も15.4%と比較的多く行われている。

助成金・補助金の活用状況については、合同防災訓練に対する助成金が6割以上であり（62.5%）、その他、東京都の「地域の底力発展事業助成」を活用している団体が3割以上（31.3%）となっている。

また、運営の課題としては、「新旧住民の交流が難しい」との回答が最も多く13.6%、次いで「他の町会との連携が難しい」との回答が10.6%となっている。連合町会の意見の中には、運営の課題として、活動の硬直化や存在意義の薄さ、人材不足などを挙げる団体も複数ある一方、情報交換や親睦などのメリットを挙げる意見もあるなど、連合体ならではの繋がりやスケールメリットを生かした活性化が求められる。

Q4 貴連合町会は普段、どのような活動を行っていますか。また、実施している活動の参加状況はいかがですか。下表の中で「実施している」の欄に を、「参加状況」の欄にあてはまる番号（下記 ～ ）をそれぞれご記入ください。

非常に良い
 良い
 悪い
 非常に悪い
 どちらとも言えない

さらに、今後実施を希望する活動はありますか。あれば「実施希望あり」の欄に をご記入ください。

	実施している		参加状況					
			非常に良い	良い	悪い			
環境美化活動（清掃・リサイクルなど）	1	1.9%	0	0.0%	1	3.2%	0	0.0%
交通安全推進活動	2	3.8%	0	0.0%	2	6.5%	0	0.0%
防災活動（災害の予防や災害時の対策等）	11	21.2%	3	23.1%	5	16.1%	1	50.0%
町内の親睦のための各種活動（旅行会・交流会など）	8	15.4%	0	0.0%	6	19.4%	0	0.0%
助け合い活動（高齢者・障がい者への支援など）	1	1.9%	0	0.0%	1	3.2%	0	0.0%
防犯活動・子ども見守り活動（防犯パトロールなど）	7	13.5%	3	23.1%	3	9.7%	0	0.0%
他連合町会等との交流を図る活動（親睦会など）	4	7.7%	0	0.0%	4	12.9%	0	0.0%
子どもを対象とした活動（お楽しみ会など）	2	3.8%	0	0.0%	2	6.5%	0	0.0%
祭りなどの文化行事	10	19.2%	7	53.8%	3	9.7%	0	0.0%
地域財産や建物などの共同管理	2	3.8%	0	0.0%	1	3.2%	0	0.0%
行政への要望	3	5.8%	0	0.0%	3	9.7%	0	0.0%
その他	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%
合計	52		13		31		2	

	参加状況		実施希望あり	
	非常に悪い	どちらとも言えない		
環境美化活動（清掃・リサイクルなど）	0	0.0%	0	0.0%
交通安全推進活動	0	0.0%	0	0.0%
防災活動（災害の予防や災害時の対策等）	0	0.0%	1	20.0%
町内の親睦のための各種活動（旅行会・交流会など）	1	100.0%	0	0.0%
助け合い活動（高齢者・障がい者への支援など）	0	0.0%	0	0.0%
防犯活動・子ども見守り活動（防犯パトロールなど）	0	0.0%	0	0.0%
他連合町会等との交流を図る活動（親睦会など）	0	0.0%	1	20.0%
子どもを対象とした活動（お楽しみ会など）	0	0.0%	1	20.0%
祭りなどの文化行事	0	0.0%	0	0.0%
地域財産や建物などの共同管理	0	0.0%	1	100.0%
行政への要望	0	0.0%	2	40.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%
合計	1		5	

「参加状況」は未回答あり。

Q 5 連合町会活動を通じて良かったと感じたことをご記入ください。

【表】Q 5 自由意見一覧

- ・ 各町会関係者どうし古くからの顔なじみのため、関係は良好である。
- ・ 子ども会や祭礼、消防団等の運営は、年二回の連合町会役員会で検討し、各町会で分担して行っている。また、隣接の連合町会とも友好的に交流しており、地域の方たちの安全安心及び親睦に貢献していると感じている。
- ・ 毎年行っているフェスティバルで、連合町会内の親睦等が図られている。
- ・ 連合町会は、頻りに集まることで親睦が深まる。若い人（60歳代）の参加も多い。
- ・ 普段から近隣町会との交流があることから、地域の祭礼や諸活動を行う際にはスムーズに行われる。
- ・ 防犯カメラの設置は連合町会規模ででき、防犯に有効である。
- ・ 義援金が多く集まるなど、町会間がまとまって何かできる。
- ・ 連合町会からまちづくりに関する協議会が出来、地域としての発言力が増した。
- ・ 防災訓練は、300名ほどの参加者があるため、町会を超えた交流、横のつながりができる。
- ・ 連合町会は、防災に関することを行うため結成されたが、今では様々なイベントを行い、若手も参加するようになって活性化するようになった。この地域から外へ出て家庭を築いた人たちも、子どもと一緒に参加してくれる。
- ・ 他町会（連合町会内）の情報が収集できる。
- ・ 特にメリットを感じていない。

Q6 行政が実施している支援制度についてお伺いします。

ア) 貴連合町会が、墨田区や東京都などの行政が実施している支援制度で過去に活用した制度はありますか。下表「ア) 活用した」の欄であてはまるもの全てに をご記入ください。

イ) その制度は満足されるものでしたか。下記 ~ から適当なものを選び、下表「イ) 満足度」の欄に、質問ア) で選択した事業ごとにご記入ください。

非常に満足
やや満足
やや不満
非常に不満
どちらとも言えない

ウ) 【質問イ) で「 やや不満」「 非常に不満」を選んだ方に伺います。】
どのような点が不満でしたか。下記 ~ から適当なものを選び、下表「ウ) 不満な点」の欄に、質問ア) で選択した事業ごとにご記入ください。

助成金額・補助金額が少ない
助成金・補助金の実績払いである
制度内容が複雑で使い勝手が悪い
制度を説明する資料・ホームページ等がわかりにくい
提出書類が多く不便である
その他

エ) 今後活用したい制度は何ですか。これも下表「エ) 今後活用したい」の欄であてはまるもの全てに をご記入ください。

	ア)		イ)					
	過去に活用 した制度		非常に満足		やや満足		やや不満	
a. 認可地縁団体等への登記料助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
b. 地域力向上推進事業補助金	1	6.3%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%
c. 合同区民防災訓練助成金	10	62.5%	4	66.7%	4	57.1%	1	100.0%
d. 地域の底力発展事業助成	5	31.3%	2	33.3%	2	28.6%	0	0.0%
e. その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	16		6		7		1	

	イ)			
	非常に不満		どちらとも 言えない	
a. 認可地縁団体等への登記料助成金	0	0.0%	0	0.0%
b. 地域力向上推進事業補助金	0	0.0%	0	0.0%
c. 合同区民防災訓練助成金	0	0.0%	1	50.0%
d. 地域の底力発展事業助成	0	0.0%	1	50.0%
e. その他	0	0.0%	0	0.0%
	0		2	

イ)は未回答あり。

	ウ)			
	金額が少ない	実績払い	制度内容が 複雑	説明内容が 複雑
a. 認可地縁団体等への登記料助成金	0	0	0	0
b. 地域力向上推進事業補助金	1	0	0	0
c. 合同区民防災訓練助成金	2	0	0	0
d. 地域の底力発展事業助成	1	0	0	0
e. その他	0	0	0	0
合計	4	0	0	0

	ウ)		エ)
	提出書類多い	その他	今後活用 したい制度
a. 認可地縁団体等への登記料助成金	0	0	2
b. 地域力向上推進事業補助金	1	0	3
c. 合同区民防災訓練助成金	1	1	2
d. 地域の底力発展事業助成	1	0	1
e. その他	0	0	2
	3	1	10

ウ)は複数回答あり。

Q7 貴連合町会の運営に関する課題にはどのようなものがありますか。あてはまるもの全てにご記入ください。

	回答数	割合
活動の参加者が少ない	3	4.5%
活動内容が慣例化している	5	7.6%
住民の関心が少ない	6	9.1%
世代間交流が難しい	6	9.1%
活動の指導者がいない	6	9.1%
新旧住民の交流が難しい	9	13.6%
外国人住民との交流が難しい	4	6.1%
他の組織・人材との連携が弱い	4	6.1%
他の町会との連携が難しい	7	10.6%
活動のPRが不足している	0	0.0%
活動のための情報が不足している	2	3.0%
予算が不足している	5	7.6%
広域のメリットを生かすことが難しい	6	9.1%
その他	3	4.5%
合計	66	

【表】Q7 自由意見一覧

- ・各町会の意思統一が困難である場合がある。
- ・総会等で各町会が意見を積極的に発言でき、民主的な運営となっている。
- ・隣接の町会との連携をしていきたいが、他の町会のことには踏み込みづらいので、二の足を踏んでいる。
- ・連合町会の課題については、各町会の課題と同様で、役員の担い手不足や集合住宅の増加であり、加入促進対策等を進めていく必要がある。
- ・連合町会長が輪番制なのに長く変わらなかったなので、硬直化が進んでいる。
- ・連合町会の活動をしていても、若い人材が参加しないため、今後の活動も衰退していくのではないかと懸念している。
- ・町を活性化させるために歴史ある当地域に多くの人を訪れてもらう必要がある。そのため、連合町会が観光ガイドを作成したり、歴史イベントを行ったりしている。
- ・連合町会共通の関心は防災訓練のため、それだけの実施となってしまう。
- ・連合町会の防災訓練で、避難所の開設・運営訓練を行ってみたい。いざという時のために必ず必要であると思う。
- ・継続して事業を行うことで定着していき、運営も協力してくれるようになった。
- ・連合町会は、町会単体ではできない地域の要望等を実現させるためにあるので、結果が出なければよくない考える。
- ・防災の関係は拠点会議が主であるため、連合町会では行っていない。
- ・安心・安全のために防犯パトロールは、地域の繋がり・姿勢を住民に見てもらうことも重要である。
- ・防犯パトロールの実施については、各町会の実施時期が重ならないようにしている。そうすることで長期のパトロールができる。
- ・各町会で関心事が異なると、協働事業には参加しない団体が出てくる。
- ・連合町会のお金がないので、各町会の持ち出しで何とかやっている。

【参考】町会・自治会の運営等に係る好事例・課題事例等の紹介(各町会・自治会の自由意見より)

好事例

- ・町会会館について、火事があった時、全員に町会会館を貸し出した(ふとんがなかったので、近隣で助け合った)。
- ・近年、子ども会・婦人会・睦・老人会との連携を計り、町会全体としての活動は以前より活発化している。
- ・自営業だけではなく、サラリーマン世帯にも役員を担ってもらえるよう、会議や行事の開催日時の工夫をしている。
- ・行事の際、若い人が可能な時のみに無理なく手伝いをしている。
- ・町会内で役割分担し、町会活動が負担にならないようにしている。
- ・町会から引っ越していった人も特別会員(会費あり)になってもらい、祭り等に参加してもらっている。
- ・小学校PTAのOGを活用して女性部の活動を担ってもらう人材を育成する予定である。
- ・マンションには管理会社を通して町会作成の「町会活動について」の冊子を渡し、6-7割のマンションから町会費をもらっている。
- ・マンション居住者との協議や、マンション建設に際しての開発事業者との交渉の結果として、マンション居住者からの役員選出や町会加入があるなど、成果が上がってきている。
- ・餅つき・祭・プール祭りなどを行い、若いファミリー層への働きかけを行っている。
- ・町会広報紙に、中学生記者を起用している。
- ・町会の広報紙は、地元の信用金庫にも置いてもらっている。
- ・マンションの掲示板に町会専用スペースを有料で確保する予定である。

課題事例

- ・町会会館が老朽化し、かつ狭いため、地域住民のニーズに答えられない。
- ・町会会館の耐震対策をしていない。建替えるのと同じくらいのお金がかかる。
- ・町会会館が無いことが本当に困っている。老人・子どもの集まる施設がない。災害があった時に一時的に集まるような場所もない。
- ・活動が義務的になっていて、楽しめる活動になっていない。
- ・町会各部が予算内でできることには限界があるため、活動内容が慣例化してしまう。
- ・役所・警察・消防などの会議が平日の昼間の設定となっていることが多く、若手の役員(サラリーマン)等の出席が困難である。
- ・この地域で生まれ育った人間は関心があるが、外から入った人に関心をつくるのは難しい。
- ・マンション居住の住民との交流ができていない。
- ・役員の高齢化・減少のため、行政からのお知らせなど回覧配布が年々困難になってきている。
- ・町会ホームページをつくりたい。しかし、町会にホームページを作成、管理する担い手がないので、もっと若い人が手伝ってくれれば助かる。
- ・新しい事業ができない(参考事例の情報提供があると良い)。

まとめ ~今後の方向性~

1 共通項の整理

本調査の結果は、町会・自治会に係る問題点・課題・ニーズ等を表したものであるが、それらを内容の共通項で整理し、下記のとおり、「設整備等支援（ハード支援）」「運営支援（ソフト支援）」「加入促進（情報支援）」の3分野に分類した。

（1）施設整備等支援（ハード支援）

会館建設・修理・改修等、財政支援（備品等の整備等）

（2）運営支援（ソフト支援）

活動の活性化、若手人材の活用促進、他組織との協働、役員の高齢化と女性の参画、運営参加者の増加、町会長・自治会長の活動、認可地縁団体化の支援

（3）加入促進（情報支援）

活動内容の積極的な発信、加入者増加のためのツール・方法、転入者やマンション住民等への加入促進、新規加入者が地域に溶け込む工夫、ICTの高度化に伴う対応強化
町会・自治会の持続的な運営及び活性化を図るためには、これら町会・自治会の“生の声”である3つの分野について、町会・自治会と行政、関係機関、有志等が協働して対処していくことが望ましい。

2 課題等の整理

上記1の3分野について、調査結果及び町会等の自由意見から把握できた町会運営の課題等を整理すると、下記のとおりとなる。

（1）施設整備等支援（ハード支援）

ア）会館建設・修理・改修等

独自の会館を有している町会・自治会は約52%あり、整備に係る金銭的な負担に関しては公的資金での支援を希望している。

イ）財政支援（備品等の整備・運営等）

約8割の町会・自治会は、現在の財政状況で運営しているものの、金銭的な支援を求める声も多い。

（2）運営支援（ソフト支援）

ア）活動の活性化

9割前後の町会・自治会で「環境美化活動」「交通安全推進活動」「防災活動」「防犯活動・子ども見守り活動」「祭りなどの文化行事」を実施しているが、活動の義務化・マンネリ化や資金不足等の状況が見られる。

イ）若手人材の活用促進

若手人材の活用は進んでいるものの、更なる人材の増加が求められている。

ウ）他組織との協働

他組織との関わりについて、老人会と子ども会とは密接に関係があるが、大学・高専・専門学校、NPO等の外部団体とは極めて少ない。

エ) 役員の高齢化と女性の参画

役員の高齢化に伴う若手人材の育成、多様な運営のための女性役員の増加が必要である。

オ) 運営参加者の増加

役員の負担減、新たな役員の獲得等が課題である。

カ) 町会長・自治会長の活動

約 8 割強の町会・自治会の会長は 70 歳以上と高齢で、約 4 割強の会長が、月 1/3 以上を町会等の活動にあてているなど負担が大きい。

キ) 認可地縁団体化の支援

円滑な資金調達等のため、認可地縁団体化促進のための更なる行政支援と P R が求められる。

町会・自治会の持続的な運営のために、認可地縁団体となるための方法をきめ細かく支援・P R することが必要である。

(3) 加入促進 (情報支援)

ア) 活動内容の積極的な発信

会員等への情報提供は、9 割以上の団体が回覧板、掲示板により行っており、独自の広報紙を作成して発信している団体は半数に満たない。

独自のホームページ等の電子媒体で発信している団体は全町会・自治会の 2 割程度で、情報発信についてインターネット等の活用が進んでいない。

約 6 割の町会・自治会が 60 年以上の歴史を持っており、加入促進のためには、新住民等に地域の中での町会の役割、実績等の P R が必要である。

イ) 加入者増加のためのツール・方法

加入促進には、直接訪問による勧誘やイベント等の際にパンフレット等を使って P R することが主であり、町会等の役割や活動等を理解してもらうための町会等の機関紙や 1 枚程度の P R チラシ・リーフレットなどのツールに対するニーズが高い。

会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場を増やすことを行っている団体が少ない。

ウ) 転入者やマンション住民等への加入促進

転入者やマンション住民等の未加入者との積極的な交流の機会や場が少ない。

マンション住民の町会加入に関し、行政からデベロッパー等に協力を依頼してほしい。

エ) 新規加入者が地域に溶け込む工夫

新規加入者に対し、頻繁に地域に溶け込む工夫を行っている団体が少ない。

カ) I C T の高度化に伴う対応強化

パソコンやスマートフォン等、高度化する I C T を活用した情報発信ができていない。

【表】分野・項目別 課題・問題点・自由意見

分野	項目	課題・問題点	内容	Q22(運営課題) 自由意見	Q23(行政との協働) 自由意見
施設整備等支援 (ハード支援)	会館建設・ 修理・改修等	・独自の会館を有している町会・自治会は約52%。 ・整備に係る金銭的な負担に関しては公的資金での支援を希望している。	・現行補助金事業の上限金額の増額を希望する団体が33団体(19.4%)と最も多く、次いで、区による融資あつせんと利子補助が17団体(10.0%)など。	・町会会館の新築・移転を希望している。 ・出張所等がなくなり、活動が不便になった。	・町会会館の確保(活動場所)が課題である。 ・集会所等活動場所がほしい。 ・町会会館の改築・耐震・老朽化対策等について必要が出て来ている。
	財政支援	・約8割の町会・自治会は、現在の厳しい財政状況の中で運営しているが、限界に達しており、金銭的支援が必要である。	・「現状収入で出来ている」「なんとか出来ている」を合わせると、133団体(78.2%)の町会・自治会が現在の財政状況で運営。ただし、聴き取りした内容では、高齢化や未加入世帯の増加など、活動予算の不足に関する意見が多い。	・会費の未払いが増えている。 ・活動しやすくなる備品(椅子等)がほしい。 ・イベントを行えば人は集まるが、予算が不足する。	・住民が減少し、会費が集めにくい。 ・町会等に対する助成金等の拡充を望む。 ・活動しやすくなる備品(冷蔵庫・会計ソフト等)がほしい。 ・複数のコミュニティ掲示板が使いづらいので修理したい。 ・災害時も考え、無料Wi-Fiを設置してほしい。
運営支援 (ソフト支援)	活動の活性化	・9割前後の町会・自治会で「環境美化活動」「交通安全推進活動」「防災活動」「防犯活動・子ども見守り活動」「祭りなどの文化行事」を実施している。	・「助け合い活動」の実施、参加状況は、相対的に少ない。	・参加者が少ない・減少している。	・町会への加入を促進するよう、区が力を入れてほしい。
	若手人材の活用	・若手人材の活用は進んでいるものの、更なる人材の増加が課題である。	・20歳代から50歳代程度までの若手人材は、「既に役員等の役割を担っている」(139団体、81.7%)、「機会があれば積極的に協力してもらっている」(95団体、55.9%)など、運営の中に若手人材の活用を図っている町会・自治会も多い。	・若い人が役員になってくれない。 ・活動のための新しいアイデアが必要である。 ・イベント等で交流を図る場が必要である。 ・子どもや若者が参加するイベント等の充実が必要である。	・若い世代が町会等に加入・交流してくれるような方策が必要である。
	他組織との協働	・「密接」に協力関係があるのは「老人会」と「子ども会」、関係がないのは「大学・高専・専門学校」「NPO」の外部団体である。	・協働により活性化に繋がる可能性のある組織、団体などとの関係構築に課題あり。	・子ども会等を通じての参加はあるが、他地域の子どもも多い。	・大学誘致に伴い学生対象の事業や複数町会が連携した子ども対象事業等がよい。 ・隣接町会の連携支援等の検討が必要である。

分野	項目	課題・問題点	内容	Q22（運営課題） 自由意見	Q23（行政との協働） 自由意見
運営支援（ソフト支援）	役員の高齢化と女性の参画	・役員について、高齢化と世代交代の停滞、女性参画の不足などが課題である。	・主要役員の年代は、6割近い（56.5%）団体が70歳代以上と高齢化が著しく、50歳代以下の役員が3人以下の団体は78団体（45.9%）。さらに、女性の役員は、83団体（48.8%）が5人以下。	・住民等の高齢化により活動が難しくなっている。 ・役員が高齢化し、担い手がなくなる。	・役員の高齢化に伴う若手人材の育成、多様な運営のための女性役員の増加が必要である。
	運営参加者の増加	・会員の運営参加に課題がある。	・役員会に毎回20人以上の役員が参加している団体が半数（50.0%）。 ・総会は「委任状がほとんどで、ほぼ役員だけが参加している」団体が約4割近く。	・総会等はほぼ役員のみでの参加である。 ・活動が義務的・マンネリ化している。 ・役員の負担減、新たな役員の獲得等が課題である。	・役員の負担減、新たな役員の獲得等が課題である。
	町会長・自治会長の活動	・約8割強の町会・自治会の会長は70歳以上と高齢で、約4割強の会長が、月1/3以上を町会等の活動にあてている。	・会長の1月あたりの団体活動日数は、「10日未満」が52.9%である一方、「10日以上」が45.3%と、約4割強の会長が、月1/3以上を町会等の活動にあてている。 ・約6割（62.4%）が「会長・役員等が個人で負担している、あるいは、たまに負担している」と回答しており、金銭的な負担もかかっている。	・役員が高齢化し、担い手がなくなる。 ・役員の負担減、新たな役員の獲得等が課題である。	・役員の高齢化に伴う若手人材の育成、多様な運営のための女性役員の増加が必要である。
	認可地縁団体化の支援	・法人化促進のための更なる行政支援とPRが求められる。	・「前向きに検討中である」または「区や金融機関等の支援条件に必要であれば検討する」と回答した団体は18団体（10.6%）。	・個人情報保護のため会員情報が取得しづらく、活動もしにくい。	・町会会館の取得や法人化等に関する支援を望む。

分野	項目	課題・問題点	内容	Q22(運営課題) 自由意見	Q23(行政との協働) 自由意見
加入促進(情報支援)	活動内容の積極的な発信	・団体内外への活動内容の積極的な発信が課題である。	・会員等への情報提供は、9割以上の団体が回覧板、掲示板により行っている。独自の広報紙を作成して発信している団体は半数に満たない。 ・独自のホームページ等の電子媒体で発信している団体は38団体と全町会・自治会数の2割程度となっており、団体内外への活動内容の発信についてインターネット等の活用が進んでいない状況がある。	・広報紙の必要性を感じている。 ・町会等の掲示板だけでは情報が行き届かない。 ・他町会の活動との共同のウェブサイト等があると便利である。	・パソコンやスマートフォンによる情報提供の支援(知識、人等)がほしい。
	加入者増加のためのツール・方法	・直接訪問による勧誘やイベント等の際のパンフレット等を使ってのPRが主である。	・町会等の役割や活動等を理解してもらうためには、「町会等の機関紙及びその充実」が60団体(35.3%)、1枚程度の「PRチラシ・リーフレット」が59団体(34.7%)などのツールのニーズが高い。 ・「漫画仕立ての物語形式により若年層にもわかりやすく理解できる小冊子」も28団体(16.5%)から回答。 ・会員との交流の機会や場を設けている団体は1割未満(8.2%)。	・人口は増えたが加入者の増加に繋がらない。 ・子育て世帯等への加入促進が必要である。 ・子育て世帯等への加入促進が必要である。 ・活動が義務的・マンネリ化している。 ・活動のための新しいアイデアが必要である。	・広報紙等、PRを強化する方法や助成のほか、漫画等わかりやすいPRツールがよい。 ・町会等の組織からではなく、一般区民の声も把握すべきである。
	転入者やマンション住民等への加入促進	・転入者やマンション住民などの未加入者との積極的な交流の機会や場が少ない。	・未加入者への加入呼びかけは、直接訪問をしたり(51.2%)、マンションの管理会社や管理人、不動産業者を通して(60.0%)行っている。	・マンション居住者、高齢者等が増加し、自営業者が減少している。 ・マンション等賃貸物件の住民の加入・交流は難しい。 ・マンション等の管理会社がよく変更となり、関係が築けない。 ・ワンルームマンションが増えたが、町会等には無関心である。	・マンション等の加入について、行政からも支援してもらいたい。 ・マンション住民の町会加入に係るデベロッパー等の協力に対し、行政から依頼してほしい。 ・町会だけでなく、一定戸数のマンション等には掲示板を設置する等の支援がほしい。

分野	項目	課題・問題点	内容	Q22(運営課題) コメント	Q23(行政との協働) コメント
加入促進(情報支援)	新規加入者が地域に溶け込む工夫	・新規加入者に対し「頻繁に」地域に溶け込む工夫を行っている団体は約14%と少ない。	・新たに加入した方々に対し、地域にうまく溶け込むための工夫は「時々行っている」団体が94団体(55.3%)、「積極的には行っていない」団体が46団体(27.1%)と、更なるきっかけづくりが必要。	・イベントや諸活動に取り込んだり、日頃の意思疎通が必要である。 ・子育て世帯等への加入促進が必要である。 ・新住民が参加しやすいイベント(子供向け等)、PR等が有効である。 ・活動のための新しいアイデアが必要である。	
	ICTの高度化に伴う対応強化	・パソコンやスマートフォン等高度化するICTを活用した情報発信ができていない。	・「パソコン・スマートフォン等の活用」など情報の収集に不安。	・後継者の育成と世代交代が課題である。	・情報発信への対応強化の必要がある。

3 課題に関する今後の方向性

上記2について、短期的(現在から3年)、中期的(3年から5年)、長期的(5年以降)な課題に整理して検討していく。

(1) 施設整備等支援(ハード支援)

町会・自治会の現在、将来にわたる安定した運営に係る財政的な支援を行う。

助成金・補助金の拡充【短期的～中期的】

助成金・補助金については、優先順位をつけて検討する。

(2) 運営支援(ソフト支援)

町会・自治会活動を機関紙やホームページで自ら発信している団体が少ないため、活用する団体を増やす。

機関紙作成支援【短期的】

目をひく、読んでみたいと思うような機関紙の作成を支援し、町会・自治会に対する住民の興味・関心の醸成を図る。

SNS等ウェブサイトによる情報発信支援【短期的】

SNS等を活用した、町会・自治会の活動に係る効果的な情報発信を支援する。

「プラットフォーム」の形成支援【短期的～長期的】

町会・自治会の担い手や役割を持つ人・企業・団体が集い、町会・自治会の活動を応援する場の形成を支援する。

(3) 加入促進(情報支援)

町会・自治会活動を理解してもらうためには、若い人たちが興味をもつ、加入促進に利用できるリーフレットが必要である。また、ファミリー世帯の加入促進及び若手人材等を運営の担い手として育成していく必要がある。

加入促進のためのリーフレットの作成【短期的】

現在、リーフレットを作成中である。

若手人材育成事業の活用【短期的～中期的】

地域の子どもやその親などに町会・自治会の運営に参加してもらい、ファミリー層の町会・自治会への興味・関心を醸成する。

墨田区全町会・自治会実態調査

= ご回答にあたって（必ずお読みください） =

- 当調査は、区内の町会等の現状・課題を詳細に調査し、現在及び将来的な構造変化に対応する効果的な施策を行うための基礎データとする目的で行います。
- 調査の結果、必要と思われる内容については可能な限り施策に反映し、地域コミュニティの持続的な活性化のために活用していきます。
- 質問は、全部で24問あります。調査の性質上、質問量は多少多くなりますが、何卒ご協力の程よろしくお願いいたします。
- 調査票は、全ての問題にご回答いただきますが、Q22及びQ23は、その詳細を「地域担当員」が直接訪問し、聴き取りにより調査を行います。そのため、当2問は町会長等がお答えいただくか、訪問時に回答者が同席してご対応いただきますようお願いいたします。（訪問日程の調整は、「地域担当員」から各町会長・自治会長に連絡いたします。）
- ご回答に迷った場合は一番近いと思われるものをお選びいただき、原則全問にご回答ください。
- 回答結果は、12月頃に区報及び区ホームページ等にて公開する予定です。なお、公開に際しては、特定の団体及び個人が特定できないよう数値化したもので行います。
- 当調査で集めた情報は、調査目的以外には使用いたしません。また、調査に回答した結果、個々の町会等が不利益となることはありません。
- 当調査は、継続して行うことにより経年変化が把握されるため、今後3年に1度程度の実施を予定しております。

【お問合せ先】

墨田区地域力支援部 地域活動推進課

担当：高橋・坂下

電話：5608-3661 Fax：5608-6934

E-メール：KATSUDOSUISHIN@city.sumida.lg.jp

= 調査票 =

町会・自治会名 _____

会長名 _____

回答者 _____ (役職)

本件についての連絡先 _____

可能であれば、本調査の回答は、貴町会・自治会等の役員会等でお話し合い又は
情報共有等をした上で行ってください(~ のいずれかに をご記入ください)。

役員数名で相談して回答した 回答内容の情報共有を行った 何も行わなかった

貴町会・自治会の「概要」についてお伺いします

Q1 結成時期はいつですか。

戦前 昭和20年代 昭和30年代 昭和40年代
昭和50年代～昭和60年代 平成以降 不明

Q2 規約等がありますか。

ある ない その他(_____)

Q3 法人を会員(または賛助会員等)としている場合、法人会員数はいくつですか。団体数を記入し、会員・賛助会員・その他 のいずれかに をご記入ください。

_____ 団体(会員 ・ 賛助会員 ・ その他)

Q4 会費(年間)はいくらですか。

_____ 円/年

Q 5 貴町会・自治会は独自の会館を所有していますか（集合住宅内の集会室等は除きます）。
ある ない

ア)「ある」とお答えした場合は、会館をどのように保有していますか。
町会で単独所有している 複数の町会で共用している

所有または共用している場合は、建物及び土地について、下表に数字及び をご記入ください。

区が平成15年度に行った調査と内容に変化がない場合は「 変わっていない」を選択してください。

【建物】

15年度調査（右欄）と	変わっている	変わっていない	平成15年度調査（参考）
	を選んだ場合は、下表をご記入ください。		
a. 建設年	昭和・平成_____年_____月		
b. 構造	耐火造・簡易耐火造・簡易鉄骨・鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造・SRC・RC造・木造・木造モルタル・木造鉄骨造・その他（_____）		
c. 延面積（㎡）	_____㎡		
d. 所有	持家・借用・借家		
e. 登記名義人	町会・個人・共有・公社・東京都・管理組合・未登記・その他（_____）		
f. 収容人員	_____人		
g. 管理人	なし・通い・住込み		
h. 利用料	あり・なし		
i. 建替え・改修・耐震等工事 a～dをお選びください。 a～cを選んだ場合、新築・改修・耐震のいずれかに をご記入ください。	a. 実施済み（新築・改修・耐震） b. 予定あり（新築・改修・耐震） c. 希望あり（新築・改修・耐震） d. ない 費用（a、bを選んだ場合） _____円		

【土地】

15年度調査（右欄）と	変わっている	変わっていない	平成15年度調査（参考）
	を選んだ場合は、下表をご記入ください。		
a. 延面積（㎡）	_____㎡		
b. 所有	持地・借地		
c. 登記名義人	町会・個人・共有・公社・東京都・管理組合・その他（_____）		

イ) 町会・自治会の活動で会館以外によく利用する施設はどこですか。あてはまるもの全てにご記入ください。

地域プラザ(本所・八広) 集会所 地区会館
コミュニティ会館・センター 他の区施設(施設名: _____)
民間施設 個人の住宅など その他(_____)

ウ) 区では、主たる町会・自治会会館建設等の経費の一部を補助する「町会・自治会 会館建設等補助金」事業()を行っています。会館建設・改修等に関して、現行事業の他どのような支援があれば最も活用したいと思いますか。

区による融資あっせん和利子補助 地元金融機関等による独自の低金利融資
現行補助金事業の上限金額の増額 現状では購入・改修等は考えていない
その他(_____)

町会・自治会会館の新築・購入・増築・改修及び会館当地の購入、借地権取得の初期費用に要する経費などを対象に500万円(必要経費の50%以内)を上限に補助する事業です。

Q6 認可地縁団体()についてお伺いします。

ア) 貴町会・自治会は今後、認可地縁団体となる予定はありますか。

すでになっている 近々なる予定である 前向きに検討中である
区や金融機関等の支援条件に必要であれば検討する
今のところ予定はない【質問イ)へ】 どちらとも言えない
その他(_____)

町会・自治会は、区が認可することで「認可地縁団体」(法人格)となり、町会名・自治会名で不動産等の登記をすることができます。

金融機関の融資を受ける等の際に、認可地縁団体(法人)であることが必要とされる場合があります。

イ)【Q6 ア)で「今のところ予定はない」を選んだ方に伺います。】

貴町会・自治会が認可地縁団体化を考えていないのはなぜですか。あてはまるもの全てにご記入ください。

会館等の不動産を所有していないため
役員等の変更のたびに所有権を変更しているため
認可地縁団体となるための方法がわからないため
認可に必要な書類等の準備に手間がかかるため(構成員名簿・規約の整備等)
手続き等を行う人材がいなかったため その他(_____)

Q7 貴町会・自治会の役員についてお伺いします。

ア) 役員の数は何人ですか。

10人未満 10～20人未満 20～30人未満 30人以上

イ) 主要役員年代は何歳代ですか。

40代以下 50代 60代 70代 80代以上

ウ) 役員のうち、女性は何人いますか。

いない 1人 2人 3人 4～5人 6～10人未満 10人以上

エ) 役員のうち、50歳代以下は何人いますか。

いない 1人 2人 3人 4～5人 6人～10人未満
10人以上

オ) 役員はどのような方法で選出していますか。

推薦(他薦) 推薦(自薦) 輪番制 選挙 その他(_____)

カ) 役員の任期は(規約上)何年ですか。

1年未満 1年 2年 3年 4年 5年以上 決まっていない

Q8 役員会、総会の参加状況(平均)についてお伺いします。

ア) 「役員会」における役員の参加状況(平均)はどうか。

5人未満 6～10人未満 10～20人未満 20人以上

イ) 「役員会」ではどのようなことを話し合っていますか。あてはまるもの全てにご記入ください。

運営・活動報告 組織の存続・将来 地域住民等のトラブル
町会・地域等の課題 行政から依頼されたもの 行政等に対する要望・提案
その他(_____)

ウ) 「総会」における会員の参加状況(平均)はどうか。

委任状がほとんどで、ほぼ役員だけが参加している

1～2割の住民が総会に参加する 2～5割の住民が総会に参加する
5割を超える住民が総会に参加する 規約や規定で役員だけの総会としている
その他(_____)

Q 9 貴町会・自治会や地域の活動の中では、男女を問わず 20 歳代から 50 歳代程度までの若手人材が参加していますか。

- 既に役員等の役割を担っている 機会があれば積極的に協力してもらっている
- 要望があれば受け入れている
- 若手住民等との対話の機会を設けている・設けるよう努めている
- 現在はないが、今後は協力関係を築きたい 参加の必要性を感じていない
- 参加については把握していない その他 (_____)

貴町会・自治会の「活動」についてお伺いします

Q 10 貴町会・自治会が普段行っている活動についてお伺いします。

ア) 貴町会・自治会は普段、どのような活動を行っていますか。また、実施している活動の参加状況はいかがですか。下表の中で「実施している」の欄に を、「参加状況」の欄にあてはまる番号(下記 ~)をそれぞれご記入ください。

非常に良い 良い 悪い 非常に悪い どちらとも言えない

さらに、今後実施を希望する活動はありますか。あれば「実施希望あり」の欄に をご記入ください。

活動の内容	実施している	参加状況 (~)	実施希望あり
環境美化活動(清掃・リサイクルなど)			
交通安全推進活動			
防災活動(災害の予防や災害時の対策等)			
町内の親睦のための各種活動(旅行会・交流会など)			
助け合い活動(高齢者・障がい者への支援など)			
防犯活動・子ども見守り活動(防犯パトロールなど)			
他町会等との交流を図る活動(親睦会など)			
子どもを対象とした活動(お楽しみ会など)			
祭りなどの文化行事			
地域財産や建物などの共同管理			
行政への要望			
その他(_____)			

イ) 貴町会等の活動の中で、このまま役員の高齢化が進むと実施が困難であると思われる活動は何ですか。あてはまるもの全てに をご記入ください。

会費等の集金 回覧板等による情報提供 パソコン・スマートフォン等の活用
 募金活動 清掃・リサイクル活動 防犯・防災パトロール 防災訓練
 助け合い・見守り活動(高齢者・障がい者への支援など)
 町内の親睦活動(旅行会・交流会など) その他(_____)

Q11 地域の他の組織や団体との協力関係についてお伺いします。下表ア)イ)について、あてはまるもの全てに をご記入ください。

ア) 地域の他の組織や団体との協力関係はありますか。

イ) 今後の活動において、特に協力関係を密にしていきたいと思う団体は何ですか。

組織・団体	ア)				イ)
	密接な協力関係あり	必要に応じて協力あり	情報交換のみで直接の協力なし	協力関係なし	今後協力を密にしたい団体
小中学校・PTA	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
消防団	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
商店街	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
社会福祉協議会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地元に事務所がある企業・事業所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
老人会(町会等と独立した)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども会(町会等と独立した)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
大学・高専・専門学校	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
マンション管理組合・不動産業者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
介護施設等の社会福祉施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
NPO	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他(<input type="checkbox"/> _____)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q12 現在の財政状況で、十分な活動は出来ていますか。

現状の収入で出来ている なんとか出来ている やや不足している
 大きく不足している どちらとも言えない

「町会長・自治会長の活動」についてお伺いします

Q13 会長の年齢（年代） 職業についてお答えください。

ア) 年代

40代以下 50代 60代 70代 80代以上

イ) 職業

自営業（製造業等） 自営業（商業・サービス業等） 自由業・専門職
会社役員・団体役員 会社員・公務員 無職 その他(_____)

Q14 会長の職以外に務めている役職はありますか。あてはまるもの全てに をご記入ください。

青少年委員 警察関係の委員 消防関係の委員 小中学校関係の委員（外部評価委員など）
施設の運営委員 消防団員 民生委員 児童委員
その他(_____)

Q15 会長はどのような方法で選出されますか。

推薦(他薦) 推薦(自薦) 輪番制 選挙 その他(_____)

Q16 会長は、町会・自治会の活動に、月何日程度従事していますか。

5日未満 5日～10日未満 10日～20日未満 20日以上

Q17 会長や役員等が町会等の活動を行う際の費用はどのように負担していますか。

町会等が全て負担している
会長・役員等が個人で負担していることがたまにある
会長・役員等が個人で負担していることが多い
会長・役員等が全て個人で負担している
その他(_____)

貴町会・自治会の「広報活動」についてお伺いします

Q18 貴町会・自治会の活動に関する情報はどのような方法で提供していますか。あてはまるもの全てに をご記入ください。

回覧板、掲示板などで会員に提供している

回覧板、掲示板などで会員以外にも提供している

独自の広報紙を作成して発信している（発行頻度：年 _____ 回 ・ 不定期 ）

実際の活動の場で提供している

町会会館などの集会施設に掲示している

区の施設に掲示している

他団体の施設に掲示している

他の団体の広報誌に掲載依頼をしている

独自のホームページ等の電子媒体で発信している（更新頻度：年 _____ 回 ・ 不定期 ）

特に何もしていない その他（ _____ ）

貴町会・自治会の「加入促進活動」についてお伺いします

Q19 転入者やマンション住民などの未加入者への加入呼びかけは行っていますか。あてはまるもの全てに をご記入ください。

直接訪問して勧誘している

マンションの管理会社や管理人、不動産業者を通して勧誘している

お祭りやイベントの時にパンフレットなどを配布している

開発段階でデベロッパーと覚書を交わすなど、協力を依頼している

パンフレットなどをポストへ投函している

会員と未加入者等との交流の機会・場を設けて行っている

特に行っていない その他（ _____ ）

Q20 貴町会・自治会に新たに加入した方々に対するその後の対応についてお伺いします。

ア) 貴町会・自治会に新たに加入した方々が、地域にうまく溶け込むための工夫は自主的に
行っていますか。

頻繁に行っている【質問イ）へ】 時々行っている【質問イ）へ】

積極的には行っていない【質問ウ）へ】 全く行っていない【質問ウ）へ】

その他（ _____ ）

イ)【Q20 ア)で「 頻繁に行っている」「 時々行っている」を選んだ方に伺います。】
新規会員に対し、具体的にはどのようなことを行っていますか。あてはまるもの全てに
をご記入ください。

役員等が定期的に新規会員宅に訪問し、必要があれば支援の仲介をしている
役員等が会員宅付近や路上等で日常的に声掛けをしている
交流や対話の場を定期的に設け、参加してもらっている
行政や関係機関等から新たな情報があったときは、役員等が訪問して提供している
祭礼やイベント等がある場合に参加の声掛けをしている
インターネットやスマートフォン等を活用して情報交換をしている
その他(_____)

ウ)【Q20 ア)で「 積極的には行っていない」「 全く行っていない」を選んだ方に伺
います。】

新規会員に対し、具体的な対応を行っていないのはなぜですか。あてはまるもの全てに
をご記入ください。
必要性を感じていないため
オートロック等により会員宅を訪問することができない
訪問しても不在のことが多い 会員が役員等との交流までは望んでいない
その他(_____)

Q21 貴町会・自治会への加入者を増やす方法について伺います。

ア) 未加入世帯に対し、どのようなことが必要だと考えますか。あてはまるもの全てに
をご記入ください。

直接訪問して勧誘する
マンションの管理会社や管理人、不動産業者を通して勧誘する
お祭りやイベントの時にパンフレットなどを配布する
開発段階でデベロッパーと覚書を交わすなど、協力を依頼する
パンフレットなどをポストへ投函する
町会・自治会の成り立ち、意義、活動内容などについて理解を深めてもらう
会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場を増やす
特に必要ない その他(_____)

イ) 未加入者等(子どもから大人まで)に町会の役割や活動等を理解してもらい、関心を高
めてもらうためには、どのようなものが必要だと思いますか。あてはまるもの全てに
をご記入ください。

図や写真、イラスト等を多用したPRチラシ・リーフレット(1枚程度のもの)
漫画仕立ての物語形式により若年層にもわかりやすく理解できる小冊子
町会等の機関紙及びその充実
パソコンやスマートフォン等により誰でもどこでも見られるPR動画
町会費の使い方を説明した資料 町会活動を知るためのイベント・講座
特に必要ない その他(_____)

貴町会・自治会の「運営に関する課題」についてお伺いします

Q22 貴町会・自治会の運営に関する課題にはどのようなものがありますか。あてはまるもの全てにご記入ください。

活動の参加者が少ない 活動内容が慣例化している 住民の関心が少ない
世代間交流が難しい 活動の指導者がいない 新旧住民の交流が難しい
外国人住民との交流が難しい 他の組織・人材との連携が弱い
他の地域との連携が弱い 活動のPRが不足している
活動のための情報が不足している 未加入世帯が多い 予算が不足している
活動や会議をする場所が少ない 会員の情報が入手しにくい
その他（ _____ ）

特に説明・理由を必要とすることについてご記入ください。

< 地域担当員コメント > 地域担当員以外は書かないでください。

貴町会・自治会の「行政との協働」についてお伺いします

Q23 貴町会・自治会が行政に実施してもらいたい支援や協力は何か。あてはまるもの全てに をご記入ください。

運営に対する補助金や助成金など財政的な支援

住民に対して町会・自治会への加入や活動参加を促進するための施策

地域課題に関する区からの情報提供・実例の紹介や相談などの充実

町会・自治会の成り立ち、意義、活動内容などについての認識向上

活動場所確保のための支援

町会会館の整備に関する支援（会館建設・改修、用地購入等の資金助成、相談等）

町会・自治会の広報活動に対する支援

会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場の提供

町会・自治会と他の団体や事業者、人材との協力・協働のコーディネート

町会・自治会の認可地縁団体化（法人化）の支援

パソコン・スマートフォン等の活用支援

その他（_____）

特に説明・理由を必要とすることについてご記入ください。

< 地域担当員コメント > 地域担当員以外は書かないでください。

Q24 行政が実施している支援制度についてお伺いします。

ア) 貴町会・自治会が、墨田区や東京都などの行政が実施している支援制度で過去に活用した制度はありますか。下表「ア) 活用した」の欄であてはまるもの全てに をご記入ください。

イ) その制度は満足されるものでしたか。下記 ~ から適当なものを選び、下表「イ) 満足度」の欄に、質問ア) で選択した事業ごとにご記入ください。

非常に満足 やや満足 やや不満【質問ウ)へ】 非常に不満【質問ウ)へ】
 どちらとも言えない

ウ)【質問イ)で「 やや不満」「 非常に不満」を選んだ方に伺います。】

どのような点が不満でしたか。下記 ~ から適当なものを選び、下表「ウ) 不満な点」の欄に、質問ア) で選択した事業ごとにご記入ください。

助成金額・補助金額が少ない 助成金・補助金の実績払いである
 制度内容が複雑で使い勝手が悪い
 制度を説明する資料・ホームページ等がわかりにくい 提出書類が多く不便である
 その他(_____)

エ) 今後活用したい制度は何ですか。これも下表「エ) 今後活用したい」の欄であてはまるもの全てに をご記入ください。

助成等事業名		ア) 活用した	イ) 満足度 (~)	ウ) 不満な点 (~)	エ) 今後活用 したい
区	a. コミュニティ掲示板助成金				
	b. コミュニティ機関紙助成金				
	c. わがまち通信局助成金				
	d. 認可地縁団体等への登記料助成金				
	e. 会館建設等補助金				
	f. 会館施設整備補助金				
	g. 地域力向上推進事業補助金				
	h. ボランティア保険				
	i. 各種防災関係助成金・補助金				
都	j. 地域の底力発展事業助成				
	k. その他(_____)				

その他、貴町会・自治会の特徴ある取組や、他の町会等の参考となる取組について、ご自由にお書きください。

= ご協力、ありがとうございました =

墨田区全町会・自治会実態調査 (連合町会用)

= ご回答にあたって (必ずお読みください) =

注) 連合町会調査は、町会・自治会用 (地域担当員) とは異なり、区地域活動推進課職員が行います。

- 当調査は、区内の連合町会の現状・課題を詳細に調査し、現在及び将来的な構造変化に対応する効果的な施策を行うための基礎データとする目的で行います。
- 調査の結果、必要と思われる内容については可能な限り施策に反映し、地域コミュニティの持続的な活性化のために活用していきます。
- 質問は、全部で7問あります。
- 調査票は、全ての問題にご回答いただきますが、Q5及びQ7は、その詳細を区地域活動推進課職員が直接訪問し、聞き取りにより調査を行い、調査票を回収いたします。そのため、Q5及びQ7は連合町会長等がお答えいただくか、訪問時に回答者が同席してご対応いただきますようお願いいたします。(訪問日程の調整は、区地域活動推進課職員から各連合町会長に連絡いたします。)
- ご回答に迷った場合は一番近いと思われるものをお選びいただき、原則全問にご回答ください。
- 回答結果は、12月頃に区報及び区ホームページ等にて公開する予定です。なお、公開に際しては、特定の団体及び個人が特定できないよう数値化したもので行います。
- 当調査で集めた情報は、調査目的以外には使用いたしません。また、調査に回答した結果、個々の町会等が不利益となることはありません。
- 当調査は、継続して行うことにより経年変化が把握されるため、今後3年に1度程度の実施を予定しております。

【お問合せ先】

墨田区地域力支援部 地域活動推進課

担当：高橋・坂下

電話：5608-3661 Fax：5608-6934

E-メール：KATSUDOSUISHIN@city.sumida.lg.jp

= 調 査 票 =

連合町会名 _____
会 長 名 _____
回 答 者 _____ (役 職) _____
本件についての連絡先 _____

貴連合町会の「概要」についてお伺いします

Q 1 貴連合町会は独自の会館を所有していますか。

ある ない

ア)「ある」とお答えした場合は、会館をどのように保有していますか。

連合町会で単独所有している 複数の町会で共用している

その他 (_____)

イ)「ない」とお答えした場合は、どこで活動していますか。あてはまるもの全てに をご記入ください。

加入町会等の会館を利用している (交代制でも可)

会議のたびに会議室を借りている 個人の住宅など

近隣の事業所から借りている その他 (_____)

ウ) 連合町会の活動でよく利用する施設はどこですか。あてはまるもの全てに をご記入ください。

地域プラザ (本所・八広) 集会所 地区会館

コミュニティ会館・センター 他の区施設 (施設名 : _____)

民間施設 個人の住宅など その他 (_____)

Q 2 貴連合町会の会長についてお伺いします。

ア) 会長はどのような方法で選出していますか。

推薦 輪番制 選挙 その他(_____)

イ) 会長の任期は何年ですか。

1年未満 1年 2年 3年 4年 5年以上 決まっていない

Q 3 役員会はどのくらいの頻度で開催していますか。

毎月 隔月 半年ごと その他(_____)

貴連合町会の「活動」についてお伺いします

Q 4 貴連合町会は普段、どのような活動を行っていますか。また、実施している活動の参加状況はいかがですか。下表の中で「実施している」の欄に を、「参加状況」の欄にあてはまる番号(下記 ~)をそれぞれご記入ください。

非常に良い 良い 悪い 非常に悪い どちらとも言えない

さらに、今後実施を希望する活動はありますか。あれば「実施希望あり」の欄に をご記入ください。

活動の内容	実施 している	参加状況 (~)	実施希望 あり
環境美化活動(清掃・リサイクルなど)			
交通安全推進活動			
防災活動(災害の予防や災害時の対策等)			
町内の親睦のための各種活動(旅行会・交流会など)			
助け合い活動(高齢者・障がい者への支援など)			
防犯活動・子ども見守り活動(防犯パトロールなど)			
他連合町会等との交流を図る活動(親睦会など)			
子どもを対象とした活動(お楽しみ会など)			
祭りなどの文化行事			
地域財産や建物などの共同管理			
行政への要望			
その他(_____)			

Q 5 連合町会活動を通じて良かったと感じたことをご記入ください。

記入欄

Q 6 行政が実施している支援制度についてお伺いします。

ア) 貴連合町会が、墨田区や東京都などの行政が実施している支援制度で過去に活用した制度はありますか。下表「ア)活用した」の欄であてはまるもの全てに をご記入ください。

イ) その制度は満足されるものでしたか。下記 ~ から適当なものを選び、下表「イ)満足度」の欄に、質問ア)で選択した事業ごとにご記入ください。

非常に満足	やや満足	やや不満【質問ウ)へ】	非常に不満【質問ウ)へ】
どちらとも言えない			

ウ)【質問イ)で「 やや不満」「 非常に不満」を選んだ方に伺います。】

どのような点が不満でしたか。下記 ~ から適当なものを選び、下表「ウ)不満な点」の欄に、質問ア)で選択した事業ごとにご記入ください。

助成金額・補助金額が少ない	助成金・補助金の実績払いである
制度内容が複雑で使い勝手が悪い	
制度を説明する資料・ホームページ等がわかりにくい	提出書類が多く不便である
その他 ()	

エ) 今後活用したい制度は何ですか。これも下表「エ)今後活用したい」の欄であてはまるもの全てに をご記入ください。

	ア) 活用した	イ) 満足度 (~)	ウ) 不満な点 (~)	エ) 今後活用 したい
区	a. 認可地縁団体等への登記料助成金			
	b. 地域力向上推進事業補助金			
	c. 合同区民防災訓練助成金			
都	d. 地域の底力発展事業助成			
	e. その他 (_____)			

Q7 貴連合町会の運営に関する課題にはどのようなものがありますか。あてはまるもの全てにご記入ください。

活動の参加者が少ない 活動内容が慣例化している 住民の関心が少ない
世代間交流が難しい 活動の指導者がいない 新旧住民の交流が難しい
外国人住民との交流が難しい 他の組織・人材との連携が弱い
他の町会との連携が難しい 活動のPRが不足している
活動のための情報が不足している 予算が不足している
広域のメリットを生かすことが難しい その他(_____)

特に説明・理由を必要とすることについてご記入ください。

< 職員コメント > 区地域活動推進課職員以外は書かないでください。

= ご協力、ありがとうございました =

墨田区全町会・自治会実態調査 報告書

平成30年12月

発行 墨田区地域力支援部 地域活動推進課

墨田区吾妻橋1-23-20

電話 03(5608)3661(直通)